

・景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・新型の高画素カメラ付き携帯電話の売れ行きが好調であるほか、第三世代の携帯電話もエリア拡大に伴って、徐々に販売数が増加している。また、データ通信系の商品もPHSの定額制導入により好評である。4月は新商品の導入が相次ぎ総じて上向いている。
	やや良く なっている	その他レジャー 施設（職員）	来客数の動き	・3か月前よりは来客数が多くなっているが、観光客の増加、イベント開催に伴う来客の増加によるところが大きい。
	変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・今月は選挙が行われたため、縁起物とされる商品の販売量が増加したが、全体としては変わらない。
			お客様の様子	・客は目的がはっきりしていても、商品選びは慎重である。景気がやや悪い状態で落ち着いてきたのではないかと思う。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価を構成している売上点数および一点単価が、前年を下回っている状況が続いている。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・札幌駅の大規模複合商業施設のせい、週末の客数が減っている感じである。
		衣料品専門店 （店員）	来客数の動き	・4月はゴールデンウィーク前なので、レジャーにお金を使うためか、客の買い渋りが多く、来店があっても買上につながらることがない。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・新入学、就職、転勤などの新生活需要も落ち着き、先月に受注した分の配達により売上を維持した。また、月の後半に入り特招会を実施したが、来客数、売上ともに前年からダウンするなど、初売り後の1月と同じ状況であった。
		家電量販店（店 員）	それ以外	・ビデオカメラ、DVDレコーダが前年より上回ったものの、売上金額は前年同月比ではほぼ同じ数値であり、全体としては変わらない。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・グリーン税制の改正による影響から駆込み受注があったが、売上は前年実績を割るなど、全体としては変わらない。
		一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・繁盛している店と寂しい店との差がはっきりと数字に表れるようになってきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・タクシーは景気が悪化すると真っ先に節約されるものであり、客は必要最低限でしかタクシーを利用していかないのではないかとと思われる。
	住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・購買量の落ち込みに加えて、一軒当たりの販売単価も低下している傾向にある。	
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・イラク戦争、SARSなどによる海外旅行の中止により、新規の商品購入が減少している。また、入学式に父兄が着物姿や新しい服装での出席することが減少している。
		商店街（代表 者）	単価の動き	・今年の春の動きとして、去年ほどアウトター要素の強いジャケット等の単価の高い商品が売れないことに加えて、単品中心となっているため、かなり客単価が下がっている。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・消費の落ち込みにより様々な冠婚葬祭への出費が抑えられている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・競合店の売り出し強化のため、客足が分散している状況であり、客数が前年より5%ほど低下している。また、客単価の落ち込みが依然として続いており、景気の厳しさを感じる。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・既存店舗の来客数は前年実績を上回っているが、一人当たりの買上点数は低下傾向にあり、客の購買動向はますます慎重になっている。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・週末の売上が鈍っている。
コンビニ（店 長）		来客数の動き	・例年に比べて、気温が非常に低いことが原因で、売上がやや悪くなっている。	
家電量販店（経 営者）	単価の動き	・仕事がまだ順調に動き出していない時期のため、1～3月から比べると売上が伸びなかった。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店(地区統括部)	単価の動き	・客数は、ほぼ対前年比で100%をキープしているが客単価が落ちている。話題商品や健康商品といった付加価値のある商品は高価格でも売れているが、買替商品の単価が落ちていることに加えて、O A商品が相変わらず苦戦をしている。
		乗用車販売店(従業員)	競争相手の様子	・今月は当社だけでなく、同業他社においても販売量が減少しているように見受けられる。
		住関連専門店(営業担当)	来客数の動き	・来客数が対前年比で10%近く減少しているなど、客の動きが悪く、単価の動きも含めて、売上不振が続いている。
		住関連専門店(従業員)	販売量の動き	・客単価が下落している。
		高級レストラン(スタッフ)	単価の動き	・入込み客数は安定しているものの、全ての面にわたって客単価が低下しているなど、デフレ傾向が強い。
		高級レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・例年、この時期は5月の連休との端境期となるため売上が悪いが、今年は特に観光客の入込みが悪い。統一地方選挙といった要因もあるが、これを除いても悪い状況である。
		高級レストラン(スタッフ)	販売量の動き	・レストランと個室のディナーの売上が減少している。料理自体の売上は前年並みだが、ワインなどの飲物の売上が激減している。宣伝費をかけた高額なディナーは全く売れなかったが、ランチを割引した3日間だけは活況を呈した。選挙活動もディナーに多少響いたようである。
		スナック(経営者)	単価の動き	・団体客の利用が多いが、時間帯にすると8時から10時頃の間であり、その後の時間帯の来客数が少なく、単価の伸び悩みがある。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・3か月前は冬のイベントで賑わったが、今月は統一地方選挙の投票日が飛び飛びの日曜日に予定されていたほか、SARS問題、国際情勢の混沌など、多くの特殊要因に見舞われている。元々、4月は年間でも最も厳しい月という季節要因はあるが、それにしても地元客を中心に宿泊客数の減少が続いている。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・来客数の動きは少し弱含みに推移している。統一地方選挙の影響で宿泊客の動きが鈍いことに加えて、イラク戦争やSARSの影響に伴う国内旅行の動きに期待したが、それほど大きくなかった。
		タクシー運転手	来客数の動き	・4月は統一地方選挙の影響により、夜の人出が全くなく、前年実績から比べると大幅に減少しているなど、散々な状態である。
		観光名所(役員)	販売量の動き	・SARSの影響で海外からの観光客の減少が顕著である。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・客の来店周期が徐々に長くなってきている。
		住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・マンションといった物件への来客数がとても少なくなっている。
	悪くなっている	一般小売店[土産](店員)	来客数の動き	・イラク戦争、SARSの影響により旅行客数が低下している。特にSARSの影響はかなり大きい。
		百貨店(売場主任)	お客様の様子	・ミドル層からシニア層にかけて売上、販売量がともに減少している。
		百貨店(販売促進担当)	競争相手の様子	・札幌駅の大型複合商業施設の出店により、駅前ゾーンの集客効果を期待したが、予想した買い回りには至らない状態となっている。3月の市内百貨店の状況からみても、商圏の拡大には至っておらず、従来の限られた商圏でのパイの食い合いが直近の動向とみられる。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数はほぼ横ばいで推移しているものの、対前年比では90%程度となっている。また、一品単価も前年をやや下回って推移している。食品部門の客一人当たりの買上点数も先月から低下していることに加えて、これまで堅調に推移していた旅行部門もSARSの影響を受け対前年比70%まで悪化している。
		コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	・天候の良し悪しに関わらず、給料日前には客の購買が一気に下落する傾向にある。
		衣料品専門店(店長)	お客様の様子	・統一地方選挙やイラク戦争があるなど、客が落ち着いた日が続いたため、今月の売上は非常に悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・イラク戦争、SARSといった件に加えて、札幌駅の大規模複合商業施設のオープンもあり、ますます客数が減少している。
		その他専門店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・来客数が前月比で数百人の減少と手がつけられないほど悪化している。ライバル店に殺到している様子もなく、一体どうなっているのか。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・イラク情勢、アジア地域のSARS感染等で旅行客が減少し、来客数が前年同月の90%程度まで落ち込んでいる。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・4月は歓送迎会が少しは増えるかと思っただけで増えず、逆に統一地方選挙の影響で役所・建設関係を始め、その他諸々の人達も飲食店街に出ることはなかった。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク戦争に加えSARSの影響で海外旅行客が激減している。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・SARSの影響が大きく旅行控えになっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク攻撃、SARSの影響で海外旅行は前年を大きく下回っている。国内旅行へのシフトも進んでいない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年4月は雪解けとともにタクシー利用が減少するが、今年は統一地方選挙があるため、例年以上にタクシーの利用が減っている。特に夜間の利用が極端に減っている。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		金属製品製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・学校、老人健康施設、マンションなど大型物件への納入が増えている。
	変わらない	通信業（営業担当）	取引先の様子	・凍結されていた設備投資について、部分的ではあるが再開される動きが出てきた。
		食料品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・入学シーズン時期に加えて統一地方選挙もあり、総じて減退時期ではあるが、低温や日照時間不足といった天候の不順による需要の減少の影響も大きい。
		食料品製造業（団体役員）	それ以外	・景気の不透明感やイラク戦争処理、株価の7千円台割れ、銀行の不良債権の増加、ゴールドデンウィークの飛び石連休、世界に広がるSARSの影響など、日本経済に対して悪い状況が増すばかりである。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・受注数量の減少に歯止めがかからない状況である。特に新規取引先の倒産、操業停止状況の工場が多発している。
		金融業（企画担当）	それ以外	・設備投資に動きはみられない。また、大型商業施設の開業が相次ぐ小売業者や、公共投資減少の続く建設業者で競争が厳しく、利益確保が困難になっている。
	やや悪く なっている	司法書士	取引先の様子	・4月は住宅関連、建設関連がやや上向き傾向となっているが、依然として不安定であり、全体としては変わらない。
		広告代理店（従業員）	取引先の様子	・函館は観光で食べている街であるが、札幌駅の大規模複合商業施設のオープンの影響もあってか、観光客の入込みは今ひとつの状況となっている。また、流通・ディーラー等各業界とも広告費の引き締めが更にきつくなっている。
		その他サービス業【建設機械リース】（支店長）	取引先の様子	・調査機関より、取引先の信用調査の問合せが増えてきた。
悪く なっている	その他非製造業【機械卸売】（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・倒産、廃業した工場で使用していた生産設備が中古品として格安で市場に出回り、新品の機械が売れなくなっている。	
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・史上空前の株安によるマインドの冷え込みと、医療費など公的支出の大幅増に対する自己防衛から、その分を食費の切り詰めでカバーしようとしている。	
良く なっている やや良く なっている	その他サービス業【システムハウス】（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が激減し単価は更に下がり続けている。周りでも人余りの話ばかりが聞こえてくる。	
	雇用 関連	-	-	-
	良く なっている やや良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は9か月連続して前年同月を上回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・建築、土木関連は減少しているが、レストランや居酒屋などの飲食店、加工関連業で増加しているため、相対的な求人数に大きな変化はみられない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・2、3か月前とは大きな変化はなく、また、前年同月と比較しても若干のプラス傾向となっている。ただし、中身を見ると、建設業では20%くらいのマイナス、逆に医療・介護系や小売業では大きな伸びを示しているなど、業種的にはかなりの偏りがみられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・駅前の空洞化による地元百貨店や中小零細商店の不振が目立つ。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・依然として人材募集広告が低迷し続けてはいるが、求人広告全体としては対前年比でほぼ横ばいの状態が継続している。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・パートや臨時職員の求人は増えているが、正社員の求人は少なく、事業主都合の退職者も増加している。
			職業安定所（職員）	求人数の動き
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・雇用が長期にわたる求人が減少している。
	悪くなっている	-	-	-

## 2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
家計動向関連	良くなっている	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・このところ順調である。昨年のピークである3月と比較しても横ばい、3か月前と比較すると28%増と、好調が続いている。		
		スーパー（店長）	来客数の動き	・今月から月2回ポイントカードのポイント倍増販売促進を実施し、来客数が月間で2%増えている。 ・ディスカウント傾向にもやや歯止めがかかりつつあり、客単価の下落にも歯止めがかかっている。		
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街の、80年以上続いてきた老舗百貨店が倒産し、整理閉店による閉店セールでは、通行量も多く、売上も増えている。しかし、セール終了後の通行量が懸念される。		
			その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・景気は悪くとも、ゴールデンウィークに向け、各飲食店、観光ホテルなどは来客を当てこんでおり、これに向けて新しい制服を導入する動きがある。	
	変わらない	商店街（代表者）	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・全体的な販売量の動きは悪くないが、郊外の大型ショッピングセンターの開店による来客数の減少が心配である。	
			百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・当店では、売上が低迷したまま推移している。 ・今月は地元の老舗同業者が閉店している。経営者の年齢が理由とはいえ、現状に行き詰まりを感じている。	
				百貨店（売場担当）	来客数の動き	・月初の特売会では、来客数が少なく、盛り上がりには欠けている。 ・食品催事は好調であるが、元売り場へのシャワー効果はほとんど無い。 ・月末の家庭用品の催事では、客数が少なく、例年見られたギフトのまとめ買いが無い。
				スーパー（経営者）	単価の動き	・婦人服で、25000円を出していたようなジャケットも20000円以内にするなど、アパレルも考えている。客も見る目があり、価格と品質を見ている。
				スーパー（店長）	単価の動き	・来客数に変化はなく、単価も似たようなピッチで低下しており、あまり変わらない。
				スーパー（店長）	それ以外	・野菜の相場高で、青果が既存店売上前年比107%と伸ばし、精肉、鮮魚の前年割れをカバーしている。酒が増税前の需要で売上前年比130%と貢献し、全体で109%と前年並みをキープしている。
			スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は増えている。 ・野菜が良いが、果物や鮮魚、精肉などのどちらかと言えば、贅沢品の売上が減少している。	
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・単価の下げ止り感は見られるが、客がデフレに慣れ、更なるディスカウントを期待している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・商品単価は上昇してきているが、必要なものしか買わないという傾向が強く、買上点数が伸び悩んでいる。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・販売数量が伸びている商品でも単価が低下しており、結局前年割れになっていたり、数量が減少し、単価も低下している商品もあるため、悪い状況が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・4月に入り、受注ペースが悪化している。特に展示会での新規来店が伸び悩み、受注にかなり影響が出ている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・平日夕方の来客数は、帰社途中のOL客などで多少増えているが、土日の来客数が全般的に減少している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・気温が平年並みで、花見需要も計画通りである。 ・価格の下落が止まっている。
		その他専門店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・衝動買いが全くといっていいほど無くなっている。壊れるまで使い、買い替えのサイクルが伸びている。気に入ったものや欲しいものがあったとしても、まだ使えるということで、成約に結びつかない。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・悪いのは悪いなりに、少し財布のひもが緩んでいる。海外旅行が悪いため、国内が増えるかもしれない。
		高級レストラン（支配人）	販売量の動き	・宿泊は、小グループとコンベンション、学会関係の宿泊が減少し、前年を下回っている。 ・宴会では、一般宴会と法要の件数が増加しているものの婚礼の減少をカバーできず、前年を下回っている。 ・レストランは、前月同様カジュアルレストランが前年を上回り、レストラン全体ではほぼ前年並を確保できそうである。 ・外商関係では、デパートの地下店舗が好調であり、郊外ショッピングセンターへの新規出店もあり、1.5倍のペースで売上が増えている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・4月は選挙の月であり、来客数、売上共に厳しいと予想していたため、大学のオリエンテーションなど客層に関係無く積極的に集客を図り、客数的には前年並、売上は微減である。 ・宿泊以外の館内消費の売上は依然として低迷している。 ・今月は、学校や役所など不景気に左右されない機関の歓送迎会が依然として目立っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今月は、県議選と市議選の影響をモロに受けており、悪い。3月までは好調を維持しており、5、6月も好調が予定されているため、明らかに好調のトレンドの中である。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・医療費負担の増加、ベースアップの無い賃金状況などで、利用者の減少幅が大きく、苦戦を強いられている。唯一健闘を続けてきた婚礼部門も一組当たりの出席人数が減少しており、いたるところで消費者が節約しているのがうかがえる。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・旅行業界では、イラク問題やSARSの関係で、アジアなどの近場の海外旅行を控える動きはあるが、海外に行こうとしていた人の20%程度は、国内にシフトしている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・3月末に市北部に大型ショッピングセンターがオープンし、駅前ではデパートが再オープンしているため、当商店街では客数で10%以上の影響が出ていると各店から報告が来ている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・家計費の節約が一段と進んでいるようで、安くて健康に良い、特に納豆の売れ行きが伸びている。反面食卓に上る刺身などの売れ行きが悪く、花見の宴会予約も例年より少ない。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	競争相手の様子	・市内の書店2店舗が今月で廃業する。本の売れ行き低迷が如実に出ている。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・競合店が閉店することになり、この閉店セールで入店客を奪われている。
		百貨店（広報担当）	販売量の動き	・競合店のリニューアルという地域事情や、シニア、シルバー層の購買意欲の弱さという流れはあるものの、5か月振りに売上が前年を割っており、入店客数も連動して微減傾向が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販促担当）	販売量の動き	・春物の前倒しにより先月は順調に推移したものの、今月は天候に恵まれず、特に週末は土日のいずれかの天候が崩れ、売上が左右される結果となっている。 ・今月に入り、ミセスゾーンに陰りが出てきている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・当市の小売業の安売り合戦の激化により、客の買い回りが強まり、底値や原価割れが分かる物しか売れていない。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・以前にも増して、低単価のものをシビアに選んで購入し、限られたお金をシビアに使っている。単価が下がりがつつあり、そういった商品が点数を伸ばしている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・桜の開花に合わせ、花見行楽商品は堅調に動いたものの、天候に左右され、雨によって花見行楽商品の販売期間は短くなっている。天候に左右される販売動向であり、とても不安定である。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・買上点数が前年比マイナス1.7%、来客数がマイナス1.8%、単価は0.8%の低下であり、生活必需品の抑制が出てきているのが懸念される。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・3か月前と比べ、競合出店とチラシ価格の低下により、客単価が2.3ポイント低下しており、来客数減少と合わせて、非常に厳しい状況である。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・ハイウェイカードの取り扱いが減少したことによる高額商品の売上が落ち込んでいる。5万円ハイカの変わりに1万円ハイカを買うという動きはあまり見られず、必要な時に購入している。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・寒い日が多く、春夏物のモチベーションが低い状態で、来客数にも伸びが無い。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・統一地方選挙の影響、賃上げが昨年以上に厳しく、社会保険料の負担増などが響き、新車、中古車共に受注ベースでは昨年割れとなっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前年同時期に比べ、コンパクトカーを中心とした今のニーズにあった商品のラインナップが充実しているにも関わらず、受注量が1割減少している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量が、前年の80%、予算比の50%と悪い状況であり、来客数も少ない。決算直後で、落ちることは予想していたが、悪過ぎる。
		その他専門店【酒】（営業担当）	販売量の動き	・選挙の影響は比較的良い方に向かっているが、SAR Sなど悪い要因が重なり、全体ではちょっと悪くなっている。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（営業担当）	販売量の動き	・春需のタイヤ販売が不振。先行き不安からか、買い控えが起きており、磨り減ったタイヤを我慢して履いている人が2割程度見られる。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（営業担当）	販売量の動き	・イラク戦争も収束し、原油生産が増えており、価格低下を見越した、販売価格の先取り値下げが見られ、今後ますます小売店におけるマージンが圧縮される。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・団体を含む、事前予約では、完全な形では追い込めず、間際予約の個人小グループの客も今ひとつである。良い月があれば、その翌月は落ち込むということの繰り返しである。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・個人顧客を中心に、IP電話へのシフトが早まっている。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・週末の天候が周期的に悪く、集客が低迷している。 ・取引先で、土木関係と給排水関係の2社が破綻している。
	悪くなっている	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・婦人服ミセスゾーンの春物の動きが悪く、前年割れは3か月前と同様であるが、マイナス幅は拡大している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・先月と同様、商品単価の下落はほぼ横ばいとなっているが、昨年12月から買上個数が大幅に減少しており、来客数も横ばい状態である。可処分所得の減少がこういった状況をもたらしている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数と客単価の前年比の乖離が2%ほどあり、客数に比べ客単価の落ち込みが大きい。 ・前年との温度差も顕著であり、全体的に厳しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・特に、ゴールデンウィークを中心に動く、ジャケットやフォーマルの動きが良くない。海外旅行が減ったり、ゴールデンウィークの小型化などの社会情勢が影響して、こうしたマーケットが動かない。
		住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・社会全体の雰囲気が悪い。失業、リストラ、年金など、当社の売上に直接的な影響があるというわけではないが、自分も含め周囲が金を使わないようにしている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・SARSなどの影響で、受注が相当減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・とにかく客の数が少なくなっている。また1メーターの小額の客が多く、中距離、長距離の客がとて少なくなっている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子	・例えば前回の発注が1000部だったら、1500部になるなど、以前に比べ、発注量が増えている。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・季節的な要因も多少あるが、協力業者の連携およびセールス強化の成果が出ている。
		新聞販売店〔広 告〕（店主）	受注価格や販売 価格の動き	・2か月連続して、チラシ収入が増加している。ここ2年ずっと横ばい、ないし低迷気味であったことを考えると、良い兆しかもしれない。
	変わらない	農林水産業（従 業者）	それ以外	・昨年の桃は天候に恵まれ、何年か振りで良かったため、各農家で意気込みが感じられる。
		食料品製造業 （経営者）	取引先の様子	・取引先の与信を毎年見直ししているが、財務体質が悪化している企業が増えている。
		金融業（営業担 当）	取引先の様子	・個人消費の低迷、収入減少が顕著になっている。 ・当行の新商品である電話による非対面式のカードローンの申し込みが多数来ている。
		その他企業〔企 画業〕（経営 者）	取引先の様子	・平成14年度の決算見通しで、取引業者の中でも特に印刷業では、軒並み売上が前年割れである。好不況の影響を受けやすい業種であるため、景気は決して良くない。
	やや悪く なっている	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・選挙の影響で、県外出荷がマイナスになっており、特に飲食店需要が厳しい。しかし低アルコールの新商品は順調に市場を拡大している。県内に向けては、選挙用の酒の出荷が増えている。
		食料品製造業 （経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・販売量が多いのは、低価格帯商品に限られ、利益性重視の付加価値の高い高単価商品の動きは極めて弱い。
		繊維工業（総務 担当）	競争相手の様子	・同業で大手と言われた企業が、今月に入り破産し、子会社も破産している。業界そのものの落ち込みが顕著になっており、ますます各産地の見通しが暗くなっている。
		出版・印刷・同 関連産業（経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・印刷業では、受注ロットの縮小化、単価の低下が止まらない。
		一般機械器具製 造業（経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・携帯電話用の部品は、好調が持続しており、しばらくはこれが続く。 ・自動車部品では、一部の取引先の販売に陰りが出てきており、その影響が出てくる。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・同業者との受注競争の中で、客の奪い合いがかなり行われている。また客からのコストダウン要求が強くなり、不採算機種が増え業績は限界を超えている状況である。
		輸送業（従 業員）	それ以外	・SARSの影響で、香港便がキャンセルとなり、前年比で輸入貨物量が大幅に落ち込んでいる。
		経営コンサル タント	取引先の様子	・このところ、セーフティネットに係る借り換え保証の相談が増えている。実際のところは実行されず、資金繰りに苦しむ企業が増えている。
コピーサービ ス業（経営者）		受注量や販売量 の動き	・受注量が減少し、販売量も減少している。コピーサービスも絶対量が不足している。	
その他非製造業 〔飲食料品卸 売業〕（経営者）		受注価格や販売 価格の動き	・現在、売上が非常に悪く、売れる商品といえば百貨商材ばかりで、それでも苦慮しているというのが現状である。数量は前年並みであるが、売上は下回っていて困っている。	
悪く なっている	電気機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・3か月前に比べ、受注量がマイナス20%強となっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求職者数の動き	・失業率が増加しているにも関わらず、求人を出しても応募者が少ない。求職者が選り好みをしているのが、当社の知名度が低いのか、賃金に不満なのか、職務が合わないのか、ミスマッチなのか、心配である。
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・年度末から今期初めにかけて、光学系のハイテクメーカーに増員などの動きがあり、やや好転している。
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・仕事を探して、相談に来る人が増えている。女性に限らず男性も多くなっており、以前は派遣会社での就職を選択しなかったような男性でも、これだけ貰えれば、と条件をかなり下げて提示して来ている。こういったことはちょっと前までは全く無かった。
		人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・正社員から、だんだんと派遣社員、契約社員、臨時のパートなどという形態の動きはあるが、賃金的な折り合いはつかない。
		職業安定所(職 員)	採用者数の動き	・新規求職者は減少しており、新規求人数は増加しているにも関わらず、就職件数が減少傾向で推移している。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・企業の雇用マインドが回復するに至らず、求人数が停滞している。 ・この春卒業した高校生の就職状況も悪い結果となっている。
	悪く なっている	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は対前年同月比で増加しているが、増加分の大半はパート、臨時、派遣請負などの求人である。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・新規求職者が前年同月と比較して減少している。特に非自発的離職者がここ数か月連続で減少しており、逆に在職中の自己都合離職者が増加傾向にある。
		人材派遣会社 (社員)	それ以外	・派遣依頼件数は、前年同月と比べ遜色ない状況であるが、単価は下落している。
悪く なっている	新聞社[求人広 告](担当者)	周辺企業の様子	・地元の老舗百貨店が閉店し、パートを含め160人が解雇された。	
	アウトソーシ ング企業(社員)	それ以外	・当社の顧客は市町村であるが、ひどい自治体では、新年度予算が半分程度になっていたり、今までは会議録の作成から、印刷製本までを請け負っていたのが、印刷を自前でいう自治体も多くなっている。	

### 3. 北関東(地域別調査機関:(財)日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店[金 物](経営者)	販売量の動き	・壁に貼るトタン板などの小さな修理材料の出荷が増加している。素人も修理をしているようである。
		自動車備品販 売店(経営者)	来客数の動き	・3か月前よりは行楽地に出向く頻度が高まり、車の稼働率が上がっていることから、修理や販売が増加している。
		スナック(営 業)	来客数の動き	・4月は名刹ご開帳などの大きなイベントがあり、短期的とは思いますが、旅行者などの来客に恵まれ、予想以上に売上が伸びている。
		タクシー運 転手	お客様の様子	・4月は歓迎会等の飲み会で、客の動きが良く、売上が前月比で約10万円増加している。
		設計事務所(所 長)	来客数の動き	・4月は特に忙しい日が続いており、来客数も2、3か月前と比べて増加している。
	変わらない	商店街(代 表者)	販売量の動き	・名刹がご開帳されて2週間経ち、前月のご開帳より3割程度多い140万人もの来街者がいるが、消費者の財布のひもは固く、思うようには売れていない。
		百貨店(売 場主任)	来客数の動き	・強力なナショナルブランドを導入したことで、最近はその商品目当ての客も来店している。
		スーパー(営 業)	販売量の動き	・3か月前から前年の売上をクリアしている。4月は気温が低いこともあり、24日までで2%下回っているが、月末に発泡酒増税による仮需要が見込まれることから、総じて変わらない。
		スーパー(店 長)	販売量の動き	・食品が主体なので、食品の相場価格により売上がかなり変動する。現在は青果部門における価格の高騰で、物量が少なくても売上は上がっているが、魚部門が前年を下回っていることから、合計では対前年比102%となっている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（統括）	販売量の動き	・4月前半は、既存店ベースでレジ通過客数が106～108%と伸び、単価は99～102%と下げ止まってきている。買上点数も微増である。売上は堅調に推移してきているが、客の、モチベーションには反応するが普段は質素に、という態度は変わっていない。入園入学関連の内祝いの単価は、前年2755円に対し、2730円と若干下回ったが、点数は伸びている。気温が不安定なこともあり、春、初夏の衣料の動きは鈍い。
		スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・4月の来客数は、対前年比で102%、売上は101%となっている。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・商圏内の競合2店舗が酒類の取扱いを開始した影響で、酒類の伸びに歯止めがかかっている。発泡酒の値上げによる仮需要もほとんどみられない。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・コンビニの売上に一番貢献度の高い、夕方～夜の来店客が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・新社会人の登場により販売台数が若干伸びたが、低価格車の購入が多く、利益率が低下している。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・観光地であるが、高級ホテルは空室ばかりだが、安いホテル等はかなり埋まっている。車も同様で、高級車は売れないが、低価格車ほど売れている。
		自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・車のアフターマーケットの業界は、構造が変わってきている。構造の変化に対応できないと業績が上がらず、構造不況になっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・3か月前は新年会はなかったが、それなりの売上があった。4月は上旬に歓送迎会の客がかなりあったが、後半に入って全く客が来ない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・名刹のご開帳があり、どの程度の客数があるかわからないが、いずれにせよ客の財布のひもが固いというのは変わっていない。客は安いものを買い求めており、土産等もほとんど買わないで帰っている。
		観光名所（職員）	お客様の様子	・レストラン関係で安いランチの店が活況を呈しているほかは、旅館、ホテル、レストランともに例年より落ち込んでいるという状況は変わっていない。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・SARSの影響で、香港からのインバウンド客が減少している。4月としては記録的な積雪により、学生客のキャンセルと団体客の伸び悩みが顕著である。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・各ゴルフ場の料金対応をみながら客が動いているのか、予約の入りが非常に遅い。GWはほぼ前年並みまで戻る。大型コンペの確保に奔走している。
		ゴルフ場（副支配人）	競争相手の様子	・競合の値引き合戦が相当進んでいる。土日の日数の関係で、来場者数は前年をわずかに上回っている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・例年4月は来客数が少なく、売上が伸びない月であり、今月を3月と比べてみても、来客数、売上ともに伸びていない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・不動産の土地価格、賃貸の家賃を下げているにも関わらず、言えばまだ下がると思っている客から値下げ交渉をされるようになってきている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・近隣に大手ショッピングセンターがオープンし、営業時間が9～23時、食品館は24時間営業ということで、商圏に大きな影響を与える。商店街への来客数の減少を懸念している。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・客は不必要なものは購入せず、価格に対して敏感である。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・不況による失業率の上昇、就職難、給料カットの影響で、春のモチベーションが悪くなっている。特に、新生活関連の需要の客単価が低下している。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・4月は選挙の影響のためか、急激に来客数が減少している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・売れているのは値上げ前の発泡酒で、それ以外の商品の動きは悪くなっている。酒、たばこの値上げが続くので、来客数、客単価とも厳しい。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・衣料品の売上は前年の8～9割と、特に苦戦している。食料品は95～100%とほぼ前年並みで、合計では対前年比90～95%となっている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・前年と比べ、来客数は変わらないが、売上が低下している。客はもう1品を買うお金がないわけではないので、うまく売ることが勝負の分かれ目である。レジで声掛けをして売り込んだ煎餅やかきんとうは、前年の数十倍の販売になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・DMによる優待セールを行ったが、来客数は思わしくない。
		家電量販店（店長）	競争相手の様子	・近隣の競合パソコンショップの閉店により、売上が若干上向いたが、総じて考えると景気は悪い。
		高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ここ数か月、売上が前年と比べて20%前後減少している。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・SARSの影響で海外旅行が減少しているにもかかわらず、宿泊予約は対前年比マイナスとなっている。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・デフレの進行、イラク戦争に伴うテロやSARSの不安により、客は外に出ないで家に引きこもっている。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・県と市の選挙の影響で夜の店が暇になり、その分収入が減少している。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・客の廃業、倒産が相次いでおり、うまく集金ができなくなっている。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・住宅用土地実勢単価が一層下落しており、半年前に分譲した土地の未販売区画が売れない。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・客は予算範囲を決めてから来店する傾向にある。当然余計なことはしないし、単価も厳しい。	
	悪く なっている	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・店から100メートルの大型百貨店が撤退し、4か月が経過した。かなり影響を受けており、来客数、来街者数が激減して景気が悪くなっている。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・イラク戦争も終結に向かっているが、SARSにより月に2～3本の割合で、キャンセルや延期が発生している。6月までは海外旅行がない状態になっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・SARSの影響により、GWの海外予約が例年の50%に落ち込んでいる。国内旅行の予約も、前年の20%減である。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・SARSの影響でキャンセルが相次いでいる。
旅行代理店（営業・管理担当）		それ以外	・4月前半は選挙の影響があり、後半はSARSの影響で海外旅行がキャンセルされ、新規受注もなく、厳しい。	
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・業界全体の仕事量が少ない。同業者の中には、しばらく仕事をしていないという事務所もあり、切羽詰った状態である。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・大量受注が決定し、生産を開始している。
	やや良く なっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・車のフルモデルチェンジの量産が立ち上がり、3か月前に比べると10～15%良くなっている。
		変わらない	食品製造業（製造担当）	取引先の様子
	化学工業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・韓国内の半導体関連企業に供給する材料ガス会社の事故による影響で、20日ほど猛烈に忙しくなったセクションがあったが、この仕事も終了し、元の状態に戻っている。
	精密機械器具製造業（経営者）		受注価格や販売価格の動き	・引き合いはあるが、短納期、低価格により成約が難しい。
	輸送業（営業担当）		受注量や販売量の動き	・宅配便等の受注は増加しているが、入学等の時期的なことであり、景気が上向いているほどではない。
	金融業（経営企画担当）		取引先の様子	・地元商店街は、来客数、客単価の減少により売上が伸びず、厳しい状況が続いている。
		新聞販売店[広告]（総務担当）	取引先の様子	・名刺のご開帳、その他のイベントにより、付近は平日でもかなり混雑している。名古屋、近畿方面など、遠隔地からでも日帰りツアーがかなり多く、土産物屋や宿坊は忙しい様子である。観光客の宿泊は近隣の温泉地であることから、市内のホテルには余裕がある。
	やや悪く なっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先から、仕事量が少なく、増える様子もないと聞いている。4月に市内の製造業、建設業で民事再生法を申請した企業が2件あり、厳しい状況である。
金融業（融資担当）		取引先の様子	・取引先のビル管理会社では、賃貸更新の際の値下げ要求が増加している。リストラだけでは追いつかず、賃料が下がらないと立ち行かないというテナントが増えてきているとのことである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・販売促進のプランよりも、広告費用を重視する企業が明らかに増加している。必要な時のみ費用を捻出する企業が多く、広告受注の単価下落が非常に目立っている。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注価格や販売価格の動き	・引き合いは多いが、同業他社との競合や異業種との設備予算の取り合い等により、受注の確保、受注価格は一層厳しくなっている。
		その他サービス業[放送](営業担当)	受注量や販売量の動き	・値引き競争や、先行き不透明感により、新年度のコマース年間契約は10%程度落ち込んでいる。新規のスポットコマースも出てきているが、期間が短く、受注金額も小口化している。
	悪くなっている	食料品製造業(営業統括)	取引先の様子	・同業他社でも販売量の落ち込みが激しくなっている。発泡酒は酒税増税による影響が既に出始めているが、ワインも厳しい。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・発注元から製造単価を決められることが当たり前の状況になっている。
		その他製造業[宝石・貴金属](経営者)	取引先の様子	・4月初めに85社が参加して行われた宝飾フェアも、来場者、売上ともに20%減少している。店頭での販売は不振で、客の宝飾品購入に対する慎重な姿勢がうかがえる。
		建設業(総務担当)	取引先の様子	・ゴルフ場で乗用カートの導入計画があり、カート路新設の見積書を提出していたが、資金のめどが立たず、計画が先送りされている。
不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新たに同業に参入する人が増加し、価格競争が厳しくなっている。		
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所(職員)	求人数の動き	・対前年比で新規求人、有効求人ともに6か月連続で増加、有効求職者は4か月連続で減少しており、やや良くなっている。
	変わらない	人材派遣会社(経営者)	採用者数の動き	・派遣社員の新年度契約更新では、不況といわれる中、契約解除は1社のみと予想外に少ない。料金引き上げに応じた企業は数社で、ほとんどの派遣社員は時給据え置きである。派遣社員側からの契約解除はない。
		求人情報誌製作会社(経営者)	採用者数の動き	・4月26日に大手ショッピングセンターが周辺に開店し、前月にはアウトレットがオープンしていることもあり、4月下旬から5月始めにかけての求人の動きは大変悪く、良い状況とは言えない。
		求人情報誌製作会社(経営者)	周辺企業の様子	・サービス業の求人広告は、パート、アルバイトが多く、社員の募集は少ない。製造業は自社の募集ではなく、人材派遣会社による募集が多い。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・製造業の求人は、前月比、前年同月比ともに減少している。建設業、製造業、卸、小売など、小規模ながら幅広い分野で、事業廃止、リストラ等による企業整備が続いている。	
	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・3月決算がほぼ確定したが、これほどはっきりと業況の良し悪しが分かれる年は珍しい。業種が同じでも格差は激しく、例年通りという企業は大変少ない。この数年新規採用を控えている企業では、社員の年齢構成比がアンバランスになっており、採用再開時には、若年層の大変な人材不足が予想される。	
	やや悪くなっている	学校[短期大学](就職担当)	求人数の動き	・今春卒業者に対する求人問い合わせは、企業数、求人数ともに前年の約70%となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている			

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・自社の供給物件によるところもあるが、週末の天候にも恵まれ、販売量が増加している。	
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・この2か月、来客数、販売量ともに増加している。商店街のインフォメーションセンターを訪れる客の数が飛躍的に増加しており、春休みが終わった後も、順調に推移している。	
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・4月は祭りが3日間あり、販売量が前年比1割強増加している。天候が良いことに加え、品揃えの効果が大きい。	
		衣料品専門店 （販売担当）	単価の動き	・来客数は変わらないが、セットで買う客が多いので、客単価が多少上がっている。	
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・3月に引き続き、4月も販売量が高い数値で安定している。	
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・全館の売上が前年比110%となっている。企業研修、新入社員研修、歓送迎会の宴会等を順調に取り込むことができている。	
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・放送加入は増加傾向にある。 ・最近途絶えていた電波障害商談が、やや活発化している。	
		パチンコ店（経 営者）	来客数の動き	・当店も競争相手も、来客数が増加している。	
	変わらない		商店街（代表 者）	単価の動き	・イラク戦争が終了したので、良くなると期待したが、SARSが発生し、問題が目白押しである。
			一般小売店〔衣 料・雑貨〕（経 営者）	お客様の様子	・4月は比較的気温が安定していたので、春物、特に上質の初夏物が良く売れている。近隣の寺でぼたんが見頃になり、集客効果もあったため、昨年並みの売上は確保できる。
			一般小売店 〔茶〕（営業担 当）	販売量の動き	・例年行っている新茶予約について、一人当たりの予約数量、売上が昨年に比べて減少している。
			百貨店（売場主 任）	単価の動き	・安価で良質な商品だけが客の目を捉えており、高額品には客の目が留まっていない。
			百貨店（広報担 当）	販売量の動き	・来客数、売上高ともに前年を下回っている。4月は前半の天候不順と低い気温で、春物から初夏物の動きが鈍い。株安やSARSの心理的影響もある。
			スーパー（店 長）	販売量の動き	・産地ブランドの牛肉や野菜等については、客は高くても購入している。 ・健康や簡便性を打ち出した商品は、売上が増加しているが、安くても話題性や目新しさのない商品は売れ残る。売り方次第で、売上が伸びる可能性はある。
スーパー（店 長）			単価の動き	・4月は毎週末の天候が悪く、客単価が落ちている。気温の変化が大きいので、商品動向の変化も激しい。気温の上昇に伴い、夏物の衣料は好調に推移している。	
スーパー（店 長）			販売量の動き	・特売日、サービス日以外の日の来客数が減少しており、販売量の動きが極端に悪くなっている。	
スーパー（運営 担当）			お客様の様子	・SARSの影響で国内需要が高まっていると思われるが、まだ実績にはつながっていない。	
コンビニ（経 営者）			それ以外	・売上、客単価が上昇傾向であるが、例年4、5月は売上が増加するので、例年通りである。	
衣料品専門店 （経営者）			単価の動き	・連休を前にして、高額品が一部動き始めているが、来客数は増加していないので、売上に変化はない。	
衣料品専門店 （経営者）			単価の動き	・単価の下落が続いている。昨年は、安くなれば客が飛びついたが、今年は単価が低下しても客の購買姿勢は慎重で、思うように売れない。先月は良かったが、今月は悪く、良い状態が長続きしない。	
家電量販店（店 員）			お客様の様子	・この2、3か月、客は大きな買い物を控えている。	
乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・土日の来客数が、依然として増加しない。			
高級レストラン （支配人）	単価の動き	・来客数は若干増加しているが、客単価が520円低下しており、売上はほとんど変わらない。			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・つげが減り、自費での低予算の宴会が増加している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・歓送迎会の季節であるが、居酒屋等での1次会で終了し、2次会は開催しないため、来客数が減少している。団体客がほとんどいない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・戦争よりもSARSの影響が大きく、海外旅行が国内に振り替えられているが、当地域では景気の冷え込みが強い。
		タクシー運転手	単価の動き	・無線の本数が2割程度増加しているが、1メーターの客が増加しているため、売上全体は伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・繁華街の客も、ほとんどがバスや電車のあるうちに帰宅している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新年度の営業努力で、契約数はやや伸びているが、客の慎重さは変わらない。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・ゴルフシーズンを迎えても、予約状況が思わしくない。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	販売量の動き	・4月のゲームセンターの売上は、前年比で前月を上回り、好調を維持している。イラク戦争が終結したものの、SARS等の影響で、近場の娯楽に客が流れているためだと考えられる。 ・家庭用ゲームでは、大作の発売もなく、例年の商戦と同様の傾向となっている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・建設計画は動きが出てきているが、上場企業が倒産する状況では不安があるためか、工事費も安い上、支払い条件も厳しい取引内容となっている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・社会情勢を気にする客が多い。株価低迷、イラク情勢、SARS等の悪要因が重なっていることが、中小企業の町の景気低迷に影響を及ぼしている。
		一般小売店 [鞆・袋物]（従業員）	お客様の様子	・4月はイラク戦争の余波、SARSの影響により、海外旅行の需要が半減している。単価は、前年と比較し、4割程度落ち込んでいる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・旅行シーズンということもあり、例年は旅行関連衣料の動きが好調であるが、今年は旅行を控える客も多い。カジュアルウェアは、ジャケット、スカート等の動きが非常に悪い。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・3月に引き続き、4月中旬まで、天候不順の影響から衣料品の売上が厳しい。気温上昇や改装工事完成でのリニューアル効果などで下旬には回復したものの、前半のマイナスを回復するには至っていない。改装の効果は限定的で、以前のように目標を確保できない。婦人雑貨や婦人服はやや持ち直したが、月全体でみると目標を確保できていない。紳士関係は極めて悪く、株価等の影響を受けている様子である。
		百貨店（広報担当）	販売量の動き	・限定商品については、客は非常に敏感に反応するが、それ以外の商品については、ほとんど反応がない。
		百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・催物の開催や、セールの日数、回数を増やしているが、来客数が比例せず、前年比でマイナスとなっている。
		百貨店（統括）	販売量の動き	・業界の主力商品である婦人、紳士の衣料と雑貨の販売量が低迷している一方、装飾品、時計、美術品等の高額商品の売上は堅調である。二極化が進み、主力商品が売れなくなってきている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・4月の来客数は前年比で99%、売上が95.7%となっている。3月は気温の影響が大きく、婦人服を中心に衣料が不振であったが、4月は気温が上がっても売上が低迷している。来客数に対する売上の比率が悪く、買い控え、客単価の低下がうかがえる。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・周辺に学生が多いので、4月になって来客数は増加したが、1人当たりの購入点数が1点の場合が多い。
		衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・天候に大きく左右され、当店をはじめ同業者も苦戦が続いている。急激に暖かくなると初夏物の動きが良くなり、寒いと春物が動くなど、消費者はその時に必要な商品を購入している。
衣料品専門店（次長）	お客様の様子	・イラク戦争による石油製品の価格上昇に伴い、物価が上昇し、買い控えが出ている。また、SARS発生で中国製商品への警戒感が出ており、衣料品でも客の過剰反応がみられる。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数が減少し、単価も低下している。来客数の減少は、買上率の上昇でカバーしているが、単価は平均して2割前後下がっており、客は類似商品であれば少しでも安い商品を選ぶ傾向にある。
		家電量販店（営業統括）	販売量の動き	・インターネット通販での販売数量が減少し、単価も低下している。昨年と比較しても若干下降傾向にある。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・高額車両の商談が減少している。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車の販売台数の落ち込みが大きく、4月としては10数年ぶりの低水準を記録している。新車イベントを3回実施した結果、来場組数は前年同月比で105.6%となったが、新車の受注は目標の75.1%に終わっている。 ・高級セダンが依然として伸び悩んでおり、サービス売上がやや前年を上回るものの、収益をカバーできない。
		その他専門店 [キャラクターグッズ]（従業員）	来客数の動き	・SARSの影響で、アジア観光客の利用が昨年に比べ大幅に減少している。
		その他専門店 [燃料]（売場主任）	お客様の様子	・掛け売り客のガソリンの使用量が徐々に減少しており、1か月間、売上のない客がいる。
		高級レストラン（経営者）	単価の動き	・このところ、客単価が極端に低下している。夜の宴会でなく、ランチで歓送迎会を行うケースが多い。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・香港、中国で流行しているSARSの影響で、東南アジアからの宿泊客が激減している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・例年、ゴールデンウィークには個人の客が相当動くが、今年はイラク戦争は終焉したものの、SARSの影響が非常に大きく、客は無理をしてまで旅行に行かない。販売量がかなり減少しており、大打撃を受けている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・SARSの影響で、海外旅行がほとんどなくなっている。
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・街を流していても、客がタクシーに乗る気配がない。駅では、タクシーが溢れていて、滞留が社会問題化されている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が昨年比で8%減となっており、4月全体では最終的に10%減となる見込みである。
		ゴルフ練習場（従業員）	来客数の動き	・ゴルフシーズンにも関わらず、来客数、売上ともに少なく、一昨年の同時期と比べても、かなり減少している。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・建設関係は、回復の見込みがないところまで来ている。業者は、単価競争をしており、非常に厳しい。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・新規物件の動きはなく、業界全体の動きが停滞している。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・このところ、客単価及び購買点数の数値が非常に悪化している。
		百貨店（副店長）	販売量の動き	・割引セールを実施しても、客の購買量が増加しない。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・夕方17時から22時までの時間帯の来客数が減少している。当店は水商売の客も多いが、このような客の数が相当減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・イラク戦争とSARSの影響があり、他社の動きをみても全般的に悪い。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・SARSの影響で、売上が大幅に減少している。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・イラク戦争、SARSの影響で、海外旅行が激減している。国内旅行も、不況の深刻化で、海外旅行からの振り替えがない。
		その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・少しでもニーズに合わなければ、人気のあるサービス商品でも購入されず、類似のサービス商品で代替されることもない。消費支出に対する客の一段とシビアな姿勢がうかがえる。
		その他サービス [学習塾]（経営者）	来客数の動き	・新年度の生徒が、以前と比べ減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・毎週、チラシや新聞等で住宅の売り出しを広告しているが、来客数が減少の一途をたどっている。客は、今大きな買物をしようという心理状態にはない。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・通常、1か月に5～6万円程度の注文がある常連客から、4月は15万円の注文を受けている。
		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	取引先の様子	・ディーゼル車の規制で、トラックの需要が増え、3月の半ば以降、親会社も下請けも量産している。2、3か月前と比較して忙しい。
		広告代理店（営 業担当）	競争相手の様子	・業績拡大に伴い、競合会社が営業人員を増強するとの情報がある。
		その他サービス 業〔廃棄物処 理〕（経営者）	取引先の様子	・一時的ではあるが、取引先の景気の回復傾向がみられる。 ・新規問い合わせ件数も、やや増加している。
	変わらない	食料品製造業 （経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・3か月前と比較すると、贈答品などの高い商品は売れないが、細かい金額の商品が売れている。
		繊維工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・夏物の動きが悪く、受注が少ない状況が、先月と変わっていない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・全国の取引先からの引き合いが、最悪の状態からほとんど変わっていない。
		建設業（経理担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・受注量はやや増加しているが、受注価格は未だ適正価格にはなっていない。
		輸送業（総務担 当）	取引先の様子	・新年度から、得意先が製品の販売価格を採算の取れる価格に戻している。販売量は減少しているが、売上は変わらないと聞いている。
		通信業（営業企 画担当）	受注量や販売量 の動き	・安さを重要視する客が目立つ。通信機器等の商品価格の低廉化はもとより、設置工事等の派遣費用がネックになる場合もみられる。業務の効率化や人件費の削減等、更なる企業努力が求められている。
		金融業（審査担 当）	取引先の様子	・製造業、建設業、卸、小売の貸出金が減少傾向にあり、依然として資金需要は低迷している。
	やや悪く なっている	非鉄金属製造業 （経理担当）	受注量や販売量 の動き	・まとまった量の受注が少なく、少量で多種の受注となっている。
		金属製品製造業 （経営者）	競争相手の様子	・発注側が三社見積で発注するようになっていて、受注価格が安く、これ以上営業しても利益を出すことができない。合理化のための設備投資に必要な利益を生み出すことができないのが現状である。
		その他製造業 〔鞆〕（経営 者）	取引先の様子	・良質で機能性に優れ、安い商品ならば売れるが、そのような商品は簡単には作れず、現状はサンプルをつけても商談が進まない。
		金融業（得意先 担当）	競争相手の様子	・設備投資を行う企業が、前年と比べて減少している。
		不動産業（経営 者）	競争相手の様子	・売家がなかなか埋まらない。家賃が15万円程度の高額物件を求める客がほとんどいない。
		不動産業（総務 担当）	取引先の様子	・民間のテナントのほか、公的機関のテナントからも、賃料引き下げの要請が増加している。
		その他サービス 業〔ディスプレイ〕（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・以前から受注価格が低迷しているが、更に予算の削減が進み、受注価格が低下している。
	悪く なっている	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子	・見積などの問い合わせが極端に少なくなっている。
		精密機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・周りの会社が倒産している。
不動産業（従業 員）		それ以外	・土地、建物の価格の下落が続き、客が買い控えている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所（所 長）	求職者数の動き	・常用、パートともに新規求職者の増加幅が縮小している。求職者の属性別で見ると「事業主都合」及び「自営その他」が減少し、「無業者」、「在職者」が増加している。雇用保険受給資格決定件数も、前年同月比で2桁台の減少となっている。
職業安定所（職 員）		求職者数の動き	・新規求職申込件数が、6か月連続で減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・売上不振による売場の縮小、出店予定の計画中止など、求人側の都合により採用者数が減少している。 ・求人側は、低賃金で質の高い求職者を採用したが、質の高い求職者は高い賃金を要求するので、条件が折り合わず、採用に結びつかない。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3月下旬から4月上旬まで、人員の入れ替えにより動きが活発になったが、それ以降は動きが鈍く、3月上旬以前の状況と変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・個人消費の不振、流通の合理化を反映して、卸売、小売業における新規求人の対前年比での減少幅が拡大している。 ・新規求人は、29人以下の小、零細企業からのものが依然として多く、これらは事業を継続する上で最小限の欠員補充を目的としたものとなっている。 ・就業者の最も多い製造業からの求人増加の兆しが全くなく、景気の回復がうかがえない。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・求人募集は出ても、企業の業績が不安定で、採用の決定が先延ばしになるケースが随所でみられる。
		学校〔専門学校〕（教務担当）	それ以外	・コンピュータソフト開発会社のネットワークエンジニア、システムエンジニア、プログラマ等の求人はかなり良い。 ・他業種では、企業で教育する余裕がないようで、即戦力となる経験者が求められている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・新年度の4月であるにもかかわらず、今年は求人の動きが鈍く、特に製造、物流で昨年に比べ2、3割減少しているのが気にかかる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・事業の縮小で、人材採用を控える企業や店が目立つ。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・募集が出なくなっている。新年度の動きに期待したが、全くためである。

#### 5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	-	-	-
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・例年より悪天候であるが、来客数は順調に増加している。
	やや良くなっている	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・悪天候にもかかわらず来客数が回復している店も多い。しかし単価が低く、売上で前年をクリアすることは難しい。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・新車の購入を検討する客が増えている。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・サービスに関する問い合わせが増加している。
		パチンコ店（店長）	来客数の動き	・客単価は低下しているが、来客数は若干増加し、滞留時間も長くなってきている。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	来客数の動き	・介護保険の改訂により高額レンタルを含めた受注量が増えている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・物件の購入希望の客が増加している。
		変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き
	商店街（代表者）		販売量の動き	・選挙の影響で人出も少なく、土産物を買う客が減少している。
	商店街（代表者）		販売量の動き	・来客数に変化はないが、例年に比べて客単価が低下している。
	商店街（代表者）		競争相手の様子	・競合店の安売りに客が取られてしまっている。
	一般小売店〔生花〕（経営者）		お客様の様子	・日持ちを考慮して購入する客が増えている。
	一般小売店〔土産〕（経営者）		それ以外	・来客数は増えているが、客単価は下がっている。
一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き		・選挙の影響で来客数が減少している。	
一般小売店〔時計〕（経営者）	お客様の様子		・必要不可欠な眼鏡等には需要があるが、客は宝石等の奢侈品に対しては購買意欲がない様子である。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・例年より天候が悪く、来客数は減少している。
		百貨店(経理担当)	販売量の動き	・品目によっては前年を上回るものもあるが、全体的には前年割れが続いている。
		スーパー(経営者)	お客様の様子	・客の生活や買物行動に元気が無い。また、来客数は変わらないが、低価格志向が依然として続いている。
		スーパー(経営者)	単価の動き	・客の低価格志向が続いている。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・食料品以外の商品、特に衣料品の動きが悪化している。客は必要に迫られないと買物をしない状況である。
		スーパー(店長)	単価の動き	・客単価の低迷から依然として脱却できていない。
		スーパー(店員)	販売量の動き	・前年と比較して売上はかなり減少している。
		スーパー(仕入担当)	来客数の動き	・改装効果、青果物の相場高や発泡酒の駆け込み需要もあり、各部門とも既存店ベースで前年売上をクリアしている。来客数も対前年比102%とほぼ満足できる状況にある。
		コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・同業者では酒類の販売量が3年前の4分の1まで落ち込んでいる。9月に販売免許が完全自由化されるため、廃業を考えている同業者がかなりいる。
		コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・新商品の販売開始直後でセール品の動きは良好であるが、定番商品の動きが鈍い。
		コンビニ(エリア担当)	それ以外	・3月に販売中止となった高額ハイウエーカードの影響と競合店舗の出店により、売上の前年比は92%台と悪化傾向が続いている。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・来客数の減少が続いており、さらに単価も低下して売上減少に拍車を掛けている。
		衣料品専門店(企画担当)	お客様の様子	・客の購買意欲は低く、シーズン初期に定価で購入する客が減少しており、購入点数も減っている。バーゲン商品への購買意欲も悪い。
		衣料品専門店(販売企画担当)	販売量の動き	・例年に比べ売上が減ってきている。
		乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・SARS問題やイラク戦争の影響で最悪の状況が続いている。
		乗用車販売店(従業員)	それ以外	・倒産や事業の縮小等があり、業界が全体的に良くない状況である。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新車を発売して数か月が経過するが、売上は前年並みである。
		その他小売[貴金属](経営者)	販売量の動き	・イラク戦争は終結したが、SARS問題等で世情不安が続く、消費者はすっきりと自分の生活を楽しむ気持ちが湧いてこず、消極的な生活が続いている。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・宿泊や宴会の利用は増加しているが、レストランの来客数は減少している。
		旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・来客数は横ばいであり、微妙なバランスで落ち着いている。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・選挙の影響で旅行業界は動きが止まっている。
		テーマパーク(総務担当)	来客数の動き	・SARS問題等で海外旅行者が減少し国内テーマパークへの来客数が増加すると予想していたが、そういった傾向はない。
		ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・東海地域のゴルフ場来客数は予算比、前年比ともに横ばいである。
		パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数は若干減少している。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・客の回転が悪い状況が続いている。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・少しずつではあるが来客数が減少している。
		その他サービス[語学学校](経営者)	販売量の動き	・売上は前年同期と比較して2割以上増加している。
		その他サービス[パチンコ機器製造販売](エリア担当)	販売量の動き	・売上は前年並みであるが、経費削減により利益をあげている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・地域電気店は比較的年配の客が多いが、その年代の客が希望する商品が少なく、シルバー層の購買意欲につながっていない。
一般小売店〔電気屋〕（経営者）		お客様の様子	・客単価は厳しい状態にあり、来客数も減少している。	
一般小売店〔酒〕（経営者）		販売量の動き	・来客数や電話注文が減少しており販売量も伸びていない。花見や歓送迎会等の会社関連の季節需要が減少している。	
百貨店（売場主任）		競争相手の様子	・来客数はあるが購買客が減少している。同業者も同様な状況であり、前年を下回る店が多い。当店は辛うじて前年をクリアしているが、担当している靴売場の売上は悪い。	
百貨店（企画担当）		販売量の動き	・選挙や天候不良によって苦戦している。	
百貨店（企画担当）		販売量の動き	・天候不順で婦人服を中心に売上が伸び悩んでいる。2月頃までは天候に左右されずに商品は売れていたが、ここ2か月は日々の売上が天候に左右されており、基調の悪化がうかがえる。	
スーパー（店員）		単価の動き	・家計を切り詰められる食品などでは、安物買いの傾向がある。	
スーパー（総務担当）		来客数の動き	・夕方のピーク時の来客数が減少している。	
コンビニ（エリア担当）		競争相手の様子	・同業他社の度重なる出店と、ファミリーレストラン、弁当屋や総菜屋の出店により、主力の弁当、ソフトドリンクや雑誌の前年割れが著しい。	
コンビニ（店長）		単価の動き	・暖かくなってきたが、飲料水等の売上が思ったほど増加しない。	
コンビニ（売場担当）		販売量の動き	・販売量が減少し、単価も低下している。その結果、売上は対前年比95%と低迷している。	
家電量販店（経営者）		お客様の様子	・客は折込広告の商品や値引商品を慎重に選んで買っている。昼食もレストランではなく、スーパーやコンビニで今までより安い弁当を購入し、車内や事務所で昼食をとっている。	
家電量販店（店長）		競争相手の様子	・競合店による値引き競争の影響が出てきている。	
家電量販店（店員）		販売量の動き	・販売量は減少している。	
家電量販店（店員）		単価の動き	・単価、売上、来客数の全体が硬直している状態である。	
家電量販店（従業員）		単価の動き	・高額商品の単価下落はまだ続く。	
自動車備品販売店（経営者）		単価の動き	・消耗品の売行きが先行しており、客単価は伸びていない。これからも高級品の売行きは伸び悩む。	
乗用車販売店（経営者）		来客数の動き	・客の手取り給与が減少している。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・販売量は減少している。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・前月の税金軽減のための駆け込み需要の反動で、今月初めは売上計画を大幅に下回っている。	
住関連専門店（店員）		販売量の動き	・気温が低かったせいもあるが、来客数、客単価とも前年を下回っている。買い控えが定着している。	
住関連専門店（営業担当）		単価の動き	・公共工事の新築物件数の減少が激しく、民間工事物件や持ち家住宅関連も減少傾向であり、価格競争は一層激化している。	
その他専門店〔雑貨〕（店員）		来客数の動き	・今年に入ってから来客数の動きに前年のような伸びが見られなくなっており、前年比減が継続している。	
その他小売〔総合衣料〕（店員）	単価の動き	・ユーロ高によって仕入単価が上昇しており、利益が圧迫されている。		
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・空港国内線内のレストランの売上は前年並みだが、国際線内のレストランは通常の70%まで減少している。		
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・SARS問題やイラク戦争の影響で、海外関連の動きが止まっている。		
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・SARS問題やイラク戦争等で暗い話題が多く、いつまでも消費意欲が向上しない。		
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・SARS問題の影響で旅行のキャンセルが相次いでいる。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	お客様の様子	・SARS問題の影響で、空港行きの乗車予約が減少している。また、夜の繁華街も金曜日以外は閑散としており、空車が目立っている。
		観光名所（案内係）	来客数の動き	・来客数はますます減少している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・客の動きが少なく、客単価も低下傾向である。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・小口案件は増加しているが、まとまった金額の案件が無く、仕事量と売上が引き合わない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・全体的に来客数が減少している。例年3、4月は入学や卒業等のお祝菓子の利用があるが、今年は減少している。個数も減少し、単価も低下している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・売上は一向に伸びず、低迷状態が続いている。
		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・選挙の影響で来客数が減少し、売上も増加しにくい。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・発泡酒の増税による駆け込み需要もほとんどなく、消費は冷え込んでいる。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・個人、家族客は堅調に推移しているが、法人関係は新採用をしていないため歓送迎会がなかったり、小規模化したりして低調である。選挙の関係で利用を控える常連客もいる。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・イラク戦争に加えてSARS問題もぼつ発し、販売量は極端に落ち込んでおり、キャンセルも続出している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・SARS問題の影響で悪化の動きがますます広がっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク戦争の影響はまったくなかったが、SARSの影響は甚大である。パッケージツアーや個人の航空券申込はぱったり止まっている。9月までの海外ツアーのキャンセル、延期は14件にのぼっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・SARS問題によって海外旅行の販売量が減少し、販売委託が伸び悩んでいる。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・選挙の影響で予約数、販売数ともかなり減少している。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・イラク戦争にともなう不安定な情勢に続いてSARSが猛威をふるっており、客の動きは極度に落ち込んでいる。		
美容室（経営者）	それ以外	・例年なら4月は良好であるが、今年は中旬以降の客足が止まっている。		
設計事務所（経営者）	販売量の動き	・売掛金の回収に時間がかかり、運転資金が余計に必要なってきている。		
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
		やや良くなっている		
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに5%程度増加している。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・イラク戦争が終了し、凍結されていたプロジェクトが再開している。
		電気機械器具製造業（従業員）	競争相手の様子	・SARS問題で中国での生産が不安定になってきており、国内生産に特需が発生している。
		電気機械器具製造業（従業員）	それ以外	・古いミシンの使い方に関する問い合わせが目立っており、廃業工場から中古機を入手する客が増加したのとおもえる。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	受注量や販売量の動き	・国内販売の状況は良好である。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・企業の設備投資や事務所の増改築といった依頼が少ない状況が続いている。
輸送業（エリア担当）	それ以外	・当社の運転手への応募者の平均年齢がこの数か月間で4、5才上昇し、30才前後になっている。他業種でこの世代がリストラされている。		
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物量は3か月前とほとんど変わらない。		
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・例年なら貨物量が2けた伸びる時期だが、今年は増加が見られない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	金融業（企画担当）	取引先の様子	・建設業界では需要は少なく競争が厳しいため、厳しい価格で受注せざるを得ない環境が続いている。
		食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格を低く抑えなければ物が売れず、競争が厳しくなっている。
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・医療費の自己負担増のため、出荷量が減少している。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・設備投資の抑制が続いており、受注が望めない。
		金属製品製造業（社員）	取引先の様子	・受注単価の低下傾向は止まる兆しがない。その一方で材料の値上げ要請が目立ってきており、収益を圧迫している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は3か月前と比較してやや増加しているが、輸出は欧州向けを中心に不振が続いている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格はさらに厳しい状態にある。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量はあるが、受注価格が相当厳しい状況である。
		公認会計士	取引先の様子	・業況が悪化している顧客企業が多い。 ・業況が良い企業でも借入の返済に終始している。また金融機関の貸し渋りが顕著になっている。
		経営コンサルタント	それ以外	・新規の土地取得の動向はまだ弱い。
	悪くなっている	鉄鋼業（経営者）	取引先の様子	・取引先の受注量が減少しており、値引き合戦になっている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・求人が増加し、求職者は減少している。事業主都合の解雇もあまり見られなくなっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・自動車関連メーカーの採用意欲が高く、東海経済の牽引役になっている。
変わらない		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・自動車、IT、小売や外食業界で人材確保の動きが著しくなっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・自動車関連からの派遣依頼は若干増加しているが、全体的には横ばいで推移している。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・派遣契約の更新時に単価の安い派遣会社への乗換えの動きが目立っている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	それ以外	・自動車やIT関連などで相変わらず受注はおう盛だが、法改正によってアウトソーシング業界への新規参入が加速しており、受注価格の低下が止まらない。
やや悪くなっている		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は卸売、小売、飲食で前年同期比1%減少しているものの、製造業で36%、サービス業で7.6%増加しているため、全体では13.4%増となっている。
		職業安定所（管理部門担当）	求職者数の動き	・希望退職を募るなど人員削減や経費削減が続いている。また、倒産や事業縮小も行われている。 ・新規求職者数が35%程度、新規雇用保険受給者は50%増加している。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・前年同月比で新規求職者は一般で微増、パートは39.9%増加している。求職者は不安定なパート雇用でも早く就職したいと考えている。

## 6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・全館のイベントにセール品を出しているが、多数の客はセール品だけでなく、盛夏物の定価商品も見ているので、購買意欲があると感じる。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・DVDの動きが大変良く、特に録画できるタイプは単価が非常に高いため、DVD全体の売上高は前年の2倍以上になっている。デジカメも1月以降は引き続き好調で、これに引きずられてプリンターの動きも良い。テレビ、エアコン、白物家電も良いが、パソコンは相変わらず低調である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・2回の統一地方選挙により来客数の減少を懸念していたが、団体客の増加により前年に比べて売上は7～8%増加した。しかし、客の表情は職種により依然格差がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・客は法要などの仏事も内輪で済ませるなど質素な動きが目立つ。また、4月に入ってから婚礼の件数も例年に比べて大変少なくなっている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・来店客の買上金額は以前と変わらない。ただし、高齢者は若い人より品質的に良い商品を買っている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・4月は紳士服など重衣料の単価が非常に低下している。また、来客数も減少している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・会員特別招待会の実施により来客数は前年を超えたが、割引価格で提供しているため客単価が低下している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・米の特売を定期的に行っているが、客はその日を目掛けて購入する傾向が強い。特売品の構成比は従来の50%から55～60%に上昇している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・例年4月は売上点数が増える時期であるが、今年は前年に比べて減少している。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・進学、入学関連の商品の動きが前年を下回っている。客単価も低下しており、客が消費を絞り込んでいる様子が見える。今月後半は気温も上がり、若干上向いたが、後が続かなかった。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・売上は前年の90%前後で、このような状態が20か月間続いている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街の通行量は低調である。従って、個店自体が客と常に新しい付加価値をつくり続けていくことが大切である。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・価格の高い車の動きは良くない。また、中高年向けの車の販売台数は伸び悩んでいる。反面、1300CCクラスの若手向けの車や中古車はやや堅調であるが、全体的な販売量はやや減少している。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・業界では小型車やRV車が売れているが、当社でも4月は前年並みに推移している。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型車が登場した割には、来客数は前年と変わらない。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	競争相手の様子	・一点単価や来客数などは昨年並みに回復しているが、競合店との価格競争が収まらないため収益が圧迫されている。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・例年より桜の開花が少し遅かったため、歓迎会と花見の客が分散して集客できた。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・一般宴会は受注件数が伸び悩み、減収となっている。また、レストラン・ウエディングを含む婚礼宴会の1件当たり売上高も前年を下回り、全体では前年を大きく下回っている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・今月は本来なら新年度で販売量が伸びる時期であるが、あまり増加しなかった。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・来客数に変化はない。		
設計事務所（職員）	販売量の動き	・4月の新年度に入り、引き合いに動きが出ている。条件は大変厳しいが、マンションなど民間受注のメドが立ちつつある。		
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築住宅だけでなく、リフォームについても受注量が前年を下回った。一時的なブームのように多数の業者がリフォーム業に参入し、過当競争になりつつある。		
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・すべての商品部門で前年割れとなった。
		乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・例年4月は3月の増販期の反動で売上が落ちるパターンであるが、今年是最悪であった。イラク情勢や統一地方選挙の影響も多少あると思うが、景気は更に後退している。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの曜日の配列によると思われるが、予約数は過去に例がないほど悪い。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・単価は引き続き低下傾向にあり、特に宿泊部門が顕著である。レストラン部門は接待など高い物件の減少により単価は低下しているが、一般物件の単価は落ち着きが見られる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・統一地方選挙のため、夜の繁華街の出入は少なくなり、週末でも通常の3割程度は減っている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・来客数が3か月間連続で減少している。理由はレジャーの多様化のためと思われる。
悪くなっている		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月は買上客数が前年の90%を割り込み、またシーズン商品の動きもまだ鈍い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・春から初夏にかけての衣替えの季節に入ったが、洋服、靴、バッグなど身の回り品を買い換える際の選択基準は「値段」になっている。要は少しでも安い物、また使い回し、着回しの利く物が中心になっているため、売上は大きくダウンしている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数はずっと順調に増加していたが、ここへきて減少傾向に入っている。1回の買物の金額は変わらないが、回数を減らすことにより、食費を削減している様子がうかがえる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・売上は「世の中どうなっているのか」と聞きたいくらい悪く、最低である。売り掛けは前月と同じであるが、現金売りが2割減少している。
		旅行代理店（従業員）	それ以外	・香港発のSARSの影響で、海外旅行の予約が全くない。
		テーマパーク（経営者）	来客数の動き	・前年に比べて団体客が減っており、また個人客も少しずつ減少している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数が前年同月比で2ケタ以上の減少となっている。従来は平日の動きは鈍かったものの、土、日の来客数はまずまず維持していたが、今月は平日以上に土、日の落ち込みが大きく、全体の利用者数減少の主因となっている。統一地方選挙等の影響もあると思われるが、近隣の温泉旅館をみても全体に客の動きが鈍くなっている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・引き合い件数が多くなっているが、成約に結びつく期間が若干遅れている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・法人向けのIT案件は3か月前に比べてどんどん動いている。ただし、取引先は徹底的なコスト削減に取り組んでいるため、価格は非常に厳しい。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新聞折込チラシの売上が3月ごろから増加傾向にある。
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・取引先からは「大変厳しい状況が続いている」という話が多い。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・荷量は多少出てきたが、価格が依然下げ止まらず、商売をしても利益が上がる状況ではない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・一時期は販売価格に下げ止まり感がみられたが、前月あたりから更に価格が下がっている。同じ商品群でも販売価格の下がったものが売れており、下落傾向がみえる。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売量の減少傾向に加え、価格の引下げ要求が強い。
悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在手持ち工事はそこそこあるが、すぐに着工できる工事は少ない。民間の工事を探しているが、非常に少ないため、ゴールデンウィークは当社の現場を10連休とした。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・特に北陸3県の民間の建築、土木工事ともに赤字覚悟の見積価格で入札してくる業者がいるため、正常な競争が望めない。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向が続いている。求職者数は減少傾向にあるものの滞留が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・海外向けの受注が好調な自動車産業やその他機械産業などの企業からは求人が増加している。しかし、内容的には正社員以外の派遣社員や臨時社員が増加する傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人の受注件数の絶対量が伸びていない。また、細かい条件をつけて求人する先が多いため、人材の手配に苦慮している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告が前年実績を1～2割上回っている状態が依然続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月の求人数は前年よりやや少ない。イラク情勢の影響が、SARSの影響かは分からないが、いずれの会社も出足がやや悪い。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・4月に入り、学生や主婦など新規のパート応募者が動き始めている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	-	-	-

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暖かくなったので冷麺類の販売が増加した。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数は横ばいかやや上向きで、客単価は昨年より上昇している。衣料品の商材単価がわずかに持ち直している。食品は水産、肉がやや不振である一方、野菜が相場高で動いている。
		衣料品専門店（営業・販売）	お客様の様子	・買い控えしていた客が戻ってきている。
		その他飲食 [ コーヒーショップ ]（店長）	来客数の動き	・GWの飛び石連休が功を奏してか、海外旅行客が減少し、国内の消費につながっている。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・花見シーズンを迎え来客数が増加し、土産等を買うなど単価も上昇している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・大阪市内の稼働率が対前年10%ダウンという極度の落ち込みのなか、宿泊、宴会とも前年以上の予約があり、しばらく控えていた会合も復活するなど、単価もさほど落とさずに売上が順調に推移している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・午前中にホテルなどで客待ちをする待機車が、先月と比較して全般的に少なくなった。流し営業での実車率が向上したため、以前のようにホテルにまわってくる回数が減少した。
	美容室（店長）	来客数の動き	・伸び自体は大きなものではないが、4月から始めた友人紹介を中心とした新客フェアにより、新しい客が増えた。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・昼間の来客数が減少している。スーパーでの夕方5時以降の値下げを待っている客が多くなっている。
		一般小売店 [ 酒 ]（経営者）	来客数の動き	・入学等による支出増加や、GW前ということもあり、主婦層の財布のひもが固い。
		一般小売店 [ 衣服 ]（経営者）	お客様の様子	・ランチタイムの来客数は減少しているものの、ディナータイムは飲み会等の需要が順調に推移している。
		一般小売店 [ 家具 ]（経営者）	お客様の様子	・気温に左右され、春物よりも初夏物のジャケット類の売行きが上向いている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・客の様子は変わらない。季節的要因で商品が動いているが、低単価の商品が売れるという状況は変らない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は少し減少したが、様子としては回数を分けているか、まとめ買いをしているかの違いで、特に買い控えが起こっているとは感じられない。
百貨店（売場主任）		販売量の動き	・気温も上昇して前半はジャケットの動きはあったものの、景気が回復したというほどではない。特にミセスの売上の落ち込みはまだ激しい。	
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・春から初夏にかけてのプロパーの売上は横ばい状況で、ヒット商品が少ない。		
百貨店（売場主任）	販売量の動き	・天候の影響も大きく、来客数の落ち込みが激しい。春物商品が不調に終わり、一気に初夏物での商戦を強いられるためアイテムの早期切替えが重要になっている。		
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・必要な物以外は買わない状況が続いているが、一部で高額なブランド時計の購入がみられるなど二極化が進んでいる。		
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・この2、3か月、付加価値の高い商材のお買得品のみが売上増加の傾向にあり、集客のための広告効果が薄くなっている。客の商品を見る目が大変厳しく、良い物と悪い物の差別化を特に求めている。		
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・これまで値引き優待会の際は来客数、客単価ともに良かったが、最近は優待会でも来客数が少ない。値引き販売に慣れ、購買意欲がみられない。		
スーパー（経営者）	単価の動き	・農作物、肉類を始めとする生鮮品の単価が堅調である。ここ1、2年強かった輸入物、中国産の食品が、農業問題やSARSの影響などで売れなくなっていることが、結果として単価引き上げにつながっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・今月は週末を中心に雨が深いものの、大きく売上が落ち込むことはなく、比較的堅調な売上を示している。
		スーパー（経理担当）	お客様の様子	・必要最小限の買物しかしないなど、客の動向は変わっていない。販促、チラシその他による特売品のみを買う客が増えている。
		スーパー（広報担当）	お客様の様子	・食料品の1人当たりの買上点数が前年を下回っている。客の節約志向が高まっており、普段の買物では不必要な物を買わない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・商品の売上が前年比1割～3割伸び悩んでいる。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・新商品の回転率が悪い。
		家電量販店（店長）	競争相手の様子	・競合店との価格競争が非常に厳しくなっており、客は何軒もまわった上で価格を比較して決めるという姿勢が強まっている。
		家電量販店（企画担当）	単価の動き	・洗濯機、クリーナー、オーディオ機器、FAXなどで単価は上昇しているものの、その他ほとんどの商品で単価は下落している。
		家電量販店（営業担当）	単価の動き	・来客数の極端な減少はないものの、客単価は大きく下落している。GW中は来客数、客単価とも大きく落ち込んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・1～3月は来客数も多く店頭も賑わっていたが、4月に入って減少し、商談締結までの日数も長期になっている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・例年はGW前の駆け込み需要がかなりあるが、今年はそのような動きが一切みられない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜間の客が極端に減少している。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・安いゴルフ場で回数を多くまわりたいというベテランのゴルファーなどを中心に、新しい客が増えている。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・車券発売金は依然として回復の兆しはなく厳しい状況にある。競輪界ビッグレースの売上も前年に比べ、条件は異なるものの2桁の減少が見受けられる。
		その他レジャー施設 [ イベントホール ]（職員）	お客様の様子	・ホール使用日数は悪くないが、イベント主催者は開催経費を抑えるなど苦労している様子が見受けられる。
		その他レジャー施設（企画担当）	単価の動き	・新規施設への集客は相当あり、レジャーニーズが一定水準存在することはうかがえるものの、特にファミリー層の消費単価が低い。
		その他サービス [ クリーニング ]（経営者）	販売量の動き	・前年同月並みの実績となったが、これは気候的な要因に左右されて実績が芳しくなかった前月分がずれ込んだものである。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・取引総数にあまり変化はないが、低額物件の問い合わせ数は増加している。
	やや悪くなっている	一般小売店 [ 精肉 ]（管理担当）	販売量の動き	・SARSの影響による香港市場での売上が減少している。店頭販売及び外食店等の対個人客においても、販売量が減少している。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平均単価は一部の高額品に動きがみられるため上昇しているが、来客数が減少するなか、来店しても購買に至らない顧客が増えるなど、購買客数も減少している。 ・売れ筋商品にも偏りがみられ、品切れ商品は入荷までいつまでも待ち、代替商品は勤めても買わないという慎重な購買態度が顕著になってきた。 ・GW前半も季節衣料品の売上は苦戦した。夏物衣料品では流行の商品より長く着られる定番商品の動きが良い。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・天候の影響やトレンドの流れもあり、ジャケットを中心とした春物全般に不振が続いている。後半に入り、気温の上昇もあってカットソーなどの単品アイテムに売れ筋が集中した結果、客単価がマイナス6%の大幅減という結果になった。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・宝飾品、美術品などは周りを気にして、今は買う時期ではないと手控えている。その一方でリビング品は引き合いが多くなってきた。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・買物の様子は特売品の原価を切ったような商品は売れるが、定番の商品の動きが非常に悪い。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー(経理担当)	来客数の動き	・ライフスタイルの多様化した消費者が要求する商品の不足から、来客数の減少が目立つ。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・有名ブランド米を使ったおにぎりは、高単価にも関わらず好調である。客に本物志向の動きがみられる。
		コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・ハイウェイカードの3、5万円の廃止や、気温の低下による飲料の販売不振で、売上が減少している。3か月前と比べ既存店平均はマイナス3%と悪化している。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・イラク戦争、SARSの影響でショッピングセンターの来客数が減少している。
		衣料品専門店(総務担当)	お客様の様子	・客の動向にSARSの影響が及んでいる。
		乗用車販売店(経営者)	単価の動き	・新車販売価格の平均単価が、1年前と比べ大きく下落している。低価格商品が売れている。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・例年になく客の動きが悪かった。過去も統一地方選挙のある時は悪かったが、今年は2回選挙があり、特に地方の客が全く動かないので影響が出た。
		観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・例年客が少ない時期ではあるが、GWの宿泊予約状況も悪く、何をしても来客数が増加しない。
		都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・4月に入りSARSの影響で、東南アジア方面からの団体を中心に海外からのツアー団体が多数キャンセルになっている。
		タクシー会社(経営者)	来客数の動き	・タクシーチケットの売上が減少している。法人客がタクシー代を節約しているとともに、個人客も減っている。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・今年度の各社のIT関連予算が縮小しており、厳しい状況となっている。
		通信会社(社員)	単価の動き	・ケーブル加入申込者の増加ペースが昨年の実績値を3割ほど下回った。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・イラク戦争、SARS、北朝鮮と社会不安要因が多く、大型連休も例年より日並びが悪いという状況で、来客数が激減している。
		競輪場(職員)	来客数の動き	・近畿では当競輪場が一番早く新賭式を導入したが、現在ほとんどの競輪場において新賭式を導入したので、来場者が分散し減少している。
		その他サービス[学習塾](経営者)	競争相手の様子	・特に中学1年生の入塾が思わしくない。昨年も芳しくなかったが、今年はそれ以上に悪い。
	その他住宅[展示場](従業員)	単価の動き	・日々陳腐化していくモデルルームを建て替えるのに数千万円もの巨額な費用がかかることで、脱展示場の方針を打ち出すメーカーが多くなってきている。	
	悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・入学用品でも必要品はその時でないと思われない。
		一般小売店[菓子](経営企画担当)	販売量の動き	・4月の売上前年比をみると、関東地区は少し持ち直してきているものの、売上全体の約70%を占めている関西地区が極端に悪い。
		一般小売店[衣服](経営者)	単価の動き	・100円ショップの出現により、客は100円近辺の商品を当たり前のものと感じている。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・平均気温が前年より1.2度低く、雨天が前年より7日多かったことから、前半は来客数、売上高ともに5%低下した。後半は天候回復と気温上昇で前年比1%増で推移した。
		一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・イラク戦争とSARSによる海外渡航者の大幅な減少によって、空港店舗の売上が予算比60%台に落ち込んでおり、会社業績にも大きな影響を与えている。
		都市型ホテル(経営者)	販売量の動き	・売上額の昨年対比はマイナスであるが、そのマイナス幅は大幅に拡大している。SARS、イラク戦争によるマイナスの影響も大きい。
		都市型ホテル(副総支配人)	販売量の動き	・宿泊は稼働率、単価とも一段と厳しい状況が続いているほか、レストランも全般的に厳しく、期待通りの集客となっていない。また一般宴会は前年を上回っているが、婚礼は前年を下回っている。
旅行代理店(店長)		販売量の動き	・海外旅行は、イラク、SARSの影響により来客数、受注とも大幅に落ち込んでいるが、国内旅行の盛り上がりも弱くなっている。	
旅行代理店(広報担当)		お客様の様子	・イラク戦争は落ち着いたが、SARSの影響で予約には結びつかない状況である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・イラク問題に関しては対応済みであるが、SARSに関しては客の心理的な影響が強く、落ち込みに一層拍車がかかっている。海外旅行はアジア方面が壊滅的な状況であり、全体も昨年比50%と大きなダメージを受けている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・SARSの影響もあり、4月～6月の海外旅行の受注が対前年で約60%に落ち込んでおり、国内旅行も対前年で90%前後の受注になっている。そうしたなかで、海外の旅行控えが国内にシフトしていない状況である。
企業 動向 関連	良くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が確実に増えている。特に、土壌汚染対策法の施行や電線類地中化の推進を政府が発表しているなど、追い風が吹いている。
	やや良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	それ以外	・色々な引き合いが入るようになってきた。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度の広告発注は、当初の予定より若干減っているクライアントもあるが、昨年に比べると増加しているところが多い。
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・春先からテレビのスポット広告の活況が続いている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費量自体が減少傾向にあるなかで、シェアの奪い合いが激しさを増している。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量や受注価格の底打ち感が出てきたが、企業間格差が大きいので取引先の信用度の調査に注意を払っている。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築需要が伸び悩むなかで競争がますます激化しており、得意分野での特化戦略をとっているものの、困難な状況が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・商談はリードタイムが6か月から1年以上かかるため、ここ数か月間の交渉に変化はみられない。SARSの影響により海外出張が延期になるケースが増えつつあるが、取引先の生産縮小のような動きはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・他社の参入が多く、価格競争は一向に収まらない。その一方で、値下げに抵抗していた外注先が値引きに協力するようになり、ますます不況が深まっている事を実感している。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・仕入れ、生産でのコストダウンや人件費圧縮等の努力が実り、利益が出るようになったが、新規の設備投資は進まない。依然として不透明感が漂っている。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・昨年末からの好調な荷動きの流れは今年に入っても維持しているが、販売価格は依然として下落傾向にあるため、トータルで見ると変わらない状況が続いている。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・2月、3月と上向き始めた住宅関連の大口客の受注量が、決算期を越えた4月になって激減しており、住宅建設の需要が必ずしも本格的に回復しているわけではないことがうかがえる。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・建築工事、内装工事等の単価は最低を維持したままであり、かなり割安感がある。現在も変わらない。
		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・競争相手が利益度外視で考えられない値引きをしており、その影響を受けている。
やや悪くなっている	経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・受注価格もこれ以上下がると、経営コンサルタント業という業界、業種がなくなる。現在の受注価格レベルで、どれだけ仕事の質を上げられるかの勝負になっている。	
	司法書士	それ以外	・事業の拡大を目的とした仕事が少なく、権利保全のための仕事が多い。	
	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・受注残がないうえに、取引先は必要な物を必要な時にしか買わないため、生産計画が立てられない。	
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ユーザーには中国進出企業が多く、SARS問題に端を発して受注にかげりが出ている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・荷動きが悪く、アジア向け輸出にもかげりが出てきている。	
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・特に価格競争が激しくなってきた。同業者の倒産が増えてきている。	
	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・関西空港での輸入貨物の取扱が不調であり、前年比で30%減っている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		金融業（支店長）	取引先の様子	・決算報告等の説明を受けていると、売上や収益の減少が多く報告されるほか、借入金の条件緩和の申し入れも多くみられる。	
		経営コンサルタント	競争相手の様子	・クライアントである企業の倒産、経費節減の理由から受注が激減している。	
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・1月との比較では、過去5年間売上が下回ることはなかったが、今年度は初めて下回りそうである。印刷複写では、昨年はカラー印刷だったものが今年から白黒でという依頼が多かった。	
		悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産ラインの3分の1を受注予測から考えて停止した。
			一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イラクの戦争、SARSの影響で、主力の航空機部品の受注が約30%ダウンしている。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・賃貸マンション、貸事務所等の賃貸物件が値下がりしており、収益が上がらない。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が、製造業、サービス業中心に3か月連続で2桁の増加を示している。	
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・ビルメンテナンス会社の清掃など、3時間のパート募集では反響が少ない一方で、5時間パートや1日のパートだと反響がみられる。これは1時間でも長く働いて収入を増やそうとする動きの表れである。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は、昨年5月より微増傾向が続いているが、請負、派遣会社からの求人が相変わらず目立っており、求職者とのミスマッチが続いている。新規求職者のうち、無業者の占める割合が過去最高となった。	
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求人数は前年度より増加し、新規求職者は減少している。有効求人倍率は上昇しているものの、就職件数は前年度から減少となった。	
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・企業セミナーの開催時期は、前年同時期より2週間ほど前倒しになっている。企業の採用意欲が回復しつつあるなかで、優秀な人材を早期に確保したいという狙いである。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業において支払いの遅延がみられる。期限を延ばして欲しい、単価を下げて欲しいという依頼が増えている。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が激変する動きはみられないが、価格の下落が著しく、その一方で高度なスキルを保有する人材を求められることから、雇用のミスマッチが一段と深刻化し、雇用情勢が悪循環に陥っている。	
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・パート就労を希望する求職者の増加が続いている。企業からの求人についても、常用求人に占めるパート求人や長期雇用求人の占める割合が増加しているものの、求職者の希望する条件とのミスマッチが強まっている。	
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業から届く求人の募集枠の絞り込みがきつくと、採用を見合わせる企業が増加している。	
悪くなっている					

## 8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が増えており、契約駐車場の利用も伸びている。 ・スポーツアイテムなど新しいゾーンを設けたため、例年より2ケタの伸びがある。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、売上はより上昇傾向にあるが、特売商品の比率が非常に大きいため、利益面での上昇は緩やかである。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・商談内容も一時期の厳しい状況よりかなり改善され、売上は若干だが上向いている。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・売上も伸びてきているが、来客数も伸びてきている。特にレディースの客の動きが良い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店(副店長)	販売量の動き	・3月に引き続き、売上、来客数ともに前年を上回っている。インパクトのある販促策を講じると、客の購買意欲は充分にある。
		自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・カーオーディオ、ビジュアル関連商品の動きが若干上向いてきており、カーナビの新製品が寄与している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・歓迎会をあてにしていた月の前半は、期待ほどの好調さではないものの、金曜、土曜の週末客の動きが良くなってきている。
		テーマパーク(業務担当)	来客数の動き	・平日に客の動きが活発化してきており、来客数が伸びている。
	変わらない	一般小売店[茶](経営者)	販売量の動き	・人の動きはそう活発ではないが、売上もさほど落ちている。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・開店記念セールでは、久しぶりに多くの客でにぎわっているが、低単価の生活必需品でもまとめ買いがみられず、客は必要点数しか購入しない。 ・常備品では気温調節のきく流行物が順調ではあるが、スーツなど重衣料が苦戦している。
		百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・店の売上はマイナス基調である。 ・物産展でも好調に推移してきた食品の売上がマイナス基調となり、食に対する消費が厳しい。
		百貨店(売場担当)	お客様の様子	・必要な物を最低限にしか買わないという流れが定着してきており、来客数の減少がそのまま売上ダウンにつながってきている。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・客の買物動向に変化がなく、引き続き必要な物を必要な量だけ購入する姿勢が続いている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・食品以外の商品の動きが非常に悪くなっている。
		スーパー(店員)	販売量の動き	・例年売れていた苗が、半分ぐらいしか売れていない。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・野菜等青物の単価が例年に比べて15%前後の高止まりで推移し、販売数量も大幅に伸び、精肉とセットで好調である反面、鮮魚に伸びがなく8%低下している。 ・来客数が増加しているのに対して販売数量の伸びがない。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数が例年の1割ほど下がっている。コンビニの競合出店、スーパーの24時間化により、価格が低下しており、客が近隣で買物を済ませる傾向があるため、商圏食い合いの状況である。
		コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・買上個数が例年に比べて減少しているものの、月前半は花見、行楽客が多く、多少盛り返している。
		衣料品専門店(地域ブロック長)	お客様の様子	・DM等を発送してセール案内をすれば売上が上がるが、単価は更に下がってきている。
		衣料品専門店(地域ブロック長)	来客数の動き	・来客数が増えているものの、単価が上がらない。
		衣料品専門店(店長)	単価の動き	・礼服の買上点数がやや低下している。 ・1着単価は例年よりかなり下がってきている。
		家電量販店(店長)	来客数の動き	・来客数が非常に少なく、買上単価が低い。 ・SARSの問題で中国や東南アジアで製造される製品の入管チェックが厳しく、商品の入荷が間に合わない状況が起きている。
		家電量販店(予算担当)	お客様の様子	・買替えの長期化の影響で、修理受付には常時客が来店している。
		乗用車販売店(統括)	競争相手の様子	・メーカーや機種によって、売上の変動が激しい。売れ筋であった車がひどく落ち込んだり、売れ筋でなかったものが上向いたり、平均すると総台数にあまり変化がない。 ・相変わらず商業車が売れない。
		住関連専門店(営業担当)	販売量の動き	・商品別みると販売量の差はあるものの、全般的に各部門とも高額家具の動きが鈍化している。
観光型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・来客数、売上もさほど変わりが無い。		
通信会社(経営者)	お客様の様子	・加入契約数がここ数か月低下したままで推移しており、増加の兆しがみえない。		
通信会社(総務担当)	お客様の様子	・客に購買意欲がないように見受けられる。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・料金を安くすれば客は来るとい状況は変わっていない。
		美容室（経営者）	単価の動き	・クーポンや割引をすれば、集客は多少あるものの、売上がそれほど伸びない。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・依然として個人住宅の新築、改装及び、アパート、マンションの建築が多いものの、販売単価は下がり気味である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・平均契約金額、平均契約面積、平均坪単価のすべてにおいて低迷が続いている。
		住宅販売会社（経理担当）	販売量の動き	・契約戸数は若干上昇しているものの、実績は低水準である。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客が買物することに慎重になっており、ついでに購入することがない状況である。
		百貨店（統括）	販売量の動き	・戦争の影響もあり、販売量、客1人当りの買上数量、販売量が特に子供服関係、紳士服関係で落ちてきている。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・来客数は何とか例年を維持し、供給高も維持をしているものの、客単価が伸びていない。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・客が今まで以上に、より自分にとって有効な店を選択するようになってきている。特にプレゼントやチラシの目玉商品を買に行くのに、得になる店を選択しており、各社競合他店とも、客を呼ぶ販促活動が、今まで以上に激化している。
		スーパー（店員）	競争相手の様子	・単価が今でも安いと思っていたが、一段と低くなっている。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・低価格商品しか売れない状況であり、客単価も大幅に下がってきている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・売れている商品の単価が下がっており、全体の数量も伸びていないため、例年割れの状態が続く。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量が例年に比べて90%くらいで動いているが、他社の動向をみても、80~90%の販売量で、前年を1割から2割落ちている。
		その他専門店【カメラ】（地域ブロック長）	来客数の動き	・高額な物を扱っているため、総売上には店ごとのバラツキはあるが、ほとんどの店で来客数が減少している。 ・売上部門構成にも変化があり、荒利構成も変わり、大幅な利益の減少となっている。
		一般レストラン（営業担当）	来客数の動き	・チェーン店の集客に下げ止まりがみえ始めてきているものの、郊外店舗の来客数の減少には依然歯止めが掛かっていない。
		その他飲食【ハンバーガー】（エリア担当）	単価の動き	・相変わらず若者の動きが鈍く、平日の来客数が減少し、客単価が低下している。
		都市型ホテル（従業員）	販売量の動き	・道路交通法が厳しくなったことも影響し、夜半から深夜にかけての売上が低下している。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・最近レストランでは、一番単価の低いコース料理ばかりがよく出ている。
		タクシー運転手	それ以外	・昼夜を問わず来客数の減少が目立っており、以前は通りで客待ち待機することのなかった大手のタクシー会社も、待機するようになるなど、厳しい状況がより厳しくなっている。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・休日に悪天候の日が多く来客数が伸びない。個人客、団体客ともに伸びず、昨年同時期の75%となっている。
レジャー施設（営業企画担当）	来客数の動き	・日帰り温泉部門、ホテル部門とも従来の割引企画を見直し実施した定価高付加価値企画も、価格に対するイメージの改善が進まず、当初の勢いが失われ、今月に入ってからは前年実績に比べてもかなり厳しい営業成績となったが、飲食部門の利用率は高い。		
悪くなっている	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・例年ある新入社員歓迎会の予約が著しく少なくなっている。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・統一地方選挙の影響で、事務所が50あり、一事務所に50人いるとすると、2,500人は町に出て来ないため、来客数が減少している。	
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・例年に比べて来客数が減少し、一段と厳しくなっている。	
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・不況やイラク戦争に加えて、SARSで最後にとどめを刺され、予約が全てキャンセルになっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店(団体営業担当)	来客数の動き	・SARSの世界蔓延が来客数の減少に影響している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	窯業・土石製品 製造業(総務経 理担当)	受注量や販売量 の動き	・納期が集中し、生産にも多忙感がある。
		輸送用機械器具 製造業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・主要顧客からの受注量が1月の内示よりも大幅に増 加している。
		金融業(業界情 報担当)	取引先の様子	・取引先の多くが受注好調の中、フル操業を継続中 で、増収増益となるところも増えつつあり、雇用拡大 や設備投資にも前向きな姿勢が目立っている。
	変わらない	化学工業(総務 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・昨年末以降全般的に生産稼働率はそこそこで、あま り大きな落ち込みはなく、無機、有機製品ともに、若 干の需要増傾向であるが、安値のため利益率が悪い状 況である。
		非鉄金属製造業 (経理担当)	受注価格や販売 価格の動き	・主力商品は1年前の底の状態より回復しつつあるも の、販売価格は下落する一方で、今のままでは赤字 の状況を脱出しきれない状況である。
		金属製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・ここ3か月間の受注量にほとんど増減がなく、横ば いの状態である。
		建設業(営業担 当)	取引先の様子	・民間工事の発注はやや増えているが、3月決算企業 における低価格受注が今月はまだ尾を引いているた め、発注金額が相当厳しい状況にある。
		輸送業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・状況は変わらないが、デフレの影響が非常に大き く、単価の見直しをしないと荷物を多く扱うことが難 しい。
		通信業(営業担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・インターネット拡大など通信サービスの受注回線数 は伸びているが、低価格化傾向は続いており、通信業 界は相変わらず体力勝負の厳しい状況にある。
やや悪く なっている	一般機械器具製 造業(経営企画 担当)	受注量や販売量 の動き	・イラク情勢の影響のためか、北米事情が非常に厳し くなっており、海外の受注量が大幅に落ち込んでい る。	
	その他製造業 [スポーツ用 品](総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・商品の品質が低下はないにもかかわらず、消費者が 商品を見る眼が厳しくなってきたり、不良返品が増 加傾向にある。売れ筋商品の返品率は非常に少ない が、売れ筋でない商品の返品率が非常に高い傾向にあ り、購入の際の選別が厳しくなっている。	
	コピーサービス 業(管理担当)	受注価格や販売 価格の動き	・顧客から取引単価の提示があり、提示金額にて対応 できない業者は取引不可能となった。その提示価格は 当社の原価以下で、手を引くしかない状況になっている。	
悪く なっている				
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・新規媒体の参入で市場が掘り起こされているため、 求人広告は2月頃から持ちなおし感が出ている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は例年に比べて増加しているが、臨時の 派遣スタッフが増加している。
		学校[大学] (就職担当)	採用者数の動き	・本学主催の企業説明会に、例年より多くの企業が参 加している。
	変わらない	人材派遣会社 (支店長)	求職者数の動き	・求職者数が3か月前の約1.5倍ほどに増えている。
		求人情報誌作成 会社(統括)	求人数の動き	・4月に新入社員を入れたため他の採用を控えたとい うところもあるが、景気動向がつかめないため、引き 続き採用は抑え気味である。
		新聞社[求人広 告](担当者)	雇用形態の様子	・SARSの影響が貿易関係にかなり出てき始めている 。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人は電気機械器具製造業からの求人が引き 続き減少しているものの、サービス業や小売業からの求 人が増加し、総じて横ばいで推移している。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・求職者数は減少傾向を示し始めているが、それほど 目立つ状況にはない。
		民間職業紹介機 関(職員)	求人数の動き	・求人票作成のため訪問する企業先で、人事制度再構 築の相談を受けることが増えており、特に年功を廃止 するケースが顕著になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・派遣の受注件数は総数として増加傾向にはあるが、職種による求職者と求人側のミスマッチが是正されていないことが閉塞感を増長させている。
	悪くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・地区やエリアを統合して人員を削減する取引先がこのところ非常に多い。

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・4月に入り、気温も上昇し、来客数が増加するとともに、春物、初夏物の販売が好調で単価も上昇している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・最近はデラックスな旅行などが多くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新年度で新入社員が買い物や歓送迎会等の飲み会に結構出ている。また、四国八十八カ所参りにも動きが見られており、3か月前より少し良くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量は、3か月前と比べると、上向きの状況である。
		通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・他社は販売数をかなり伸ばしている。その結果、当社のシェアがかなり食われている。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・高額なものは売れず、他店より安価なものが売れている。母の日は、例年だと1、2週間前から注文があるが、今年は注文がほとんどない状態が続いている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・どうしても欲しいもの、必要なものだけを購入する傾向に変わりはない。さらに、価格にも敏感になっており、高額な本は図書館を利用するなど、財布のひもは非常に固くなっている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・統一地方選挙の影響により、来客数は4か月ぶりに前年を下回った。それに伴い売上、単価も低下した。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・ライバル店の閉店にもかかわらず、来客数、売上とも増加しなかった。購入意欲の低迷が続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・売上は対前年比1ポイント増加したが、単価は2ポイント低下した。さらに単価低下の傾向が現れている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客の購買動向は、同じ商品でも、通常価格だと購入せず、販売量も増加しないが、特売になると急に動き出すという状況にある。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・客の買上点数が減少している。特売商品を買って回っている状況が見受けられる。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・売上は対前年比を上回っているが、営業時間延長という要因を勘案すれば昨年と変わりがない。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・売上は前年割れの状態が続いているが、今月は高額ハイウェイカードの販売が中止になったことを考えると、思ったよりは少し良い状態である。しかし、客の購入動向は、酒類等が減少しており、余裕のなさが見受けられる。
		家電量販店（営業担当）	単価の動き	・来客数は堅調であるが、単価は前年より低下している。宣伝効果は出ているが、売上はチラシの掲載商品の中でも安価なものに集中している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車受注は前年割れが続いている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・問い合わせ件数、予約件数は増加したが、売上増にはつながらず閉塞感は続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の話、売上単価から判断して、3か月前と変化がない。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	お客様の様子	・2月以降、売り希望、買い希望の新規注文が少なく、売買契約締結の実績も低調に推移している。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近実施した3年ごとの通行量調査において、前回調査と比べると、かなり厳しい数字が出た。自転車の利用者が非常に増加しており、商店街が広域型から近隣型に変化しつつある。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・4月に入り、来客数はかなり落ち込み、3月の94%の水準で推移している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・来客数は、昨年と比べてやや増加傾向であるが、売上はかなり厳しい状況である。客の買い回り状況を見ても、必要なもの以外は購入しないことから単価が低下している。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・3か月前と比較して、来店客数は0.5ポイント、単価は0.7ポイント悪化している。
		コンビニ（代表者）	販売量の動き	・3か月前と比較して、販売量は4～5%減少、来客数は2%減少している。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・購入姿勢が非常に慎重で、特に高級品の場合は、購入するまでに相当の時間をかけている。あるいは購入せず帰る場合も多い。また単品購入という傾向が非常に強くなっている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・統一地方選挙、SARS、イラク戦争等の影響もあり、人の動きが悪い。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・SARS、イラク戦争の影響により、ゴールデンウィークの海外旅行はほとんど成約できていない。中国方面への団体旅行も、すべてキャンセルになった。国内航空券の売上は大きな変化はない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来店周期の長期化とともに、単価がかなり減少している。
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・近隣の競合店が4月に閉店し、その客がこちらに流れてくるかと思っただが、期待はずれであった。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・来客数の減少が激しく、従業員ばかりが目立つ。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・来客数は、前年を維持しているが、競合店の出現により、単価、買上点数が前年を下回っている。
		その他専門店〔CD〕（店員）	販売量の動き	・売れ筋商品が少なくなり、その結果、来客数も減少している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・客の動きから見れば、グループ客の数が減少している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少とともに、単価もかなり低下してきている。
		企業動向関連	良くなっている	-
やや良くなっている	-		-	-
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・計画通りの受注ができない状況が続いている。
	一般機械器具製造業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・受注量は大変堅調に推移しているが、1台当たりの単価は相当低下している。
	建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・受注件数はある程度確保できているが、大型工事がほとんどなく、受注金額は大幅に減少している。
	通信業（支店長）		受注量や販売量の動き	・法人客からのシステム受注など販売量は、3か月前とあまり変化がない。
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・価格は下げ止まってきているが、SARSの影響から受注量が大幅に減少している。
	輸送業（支店長）		競争相手の様子	・大口取引先から大幅な値下げ要請があり、専属業者の他社では撤退を余儀なくされている。
	公認会計士		取引先の様子	・決算状況を見ると、小売業、サービス業、建設業全てにおいて、客の売上、利益とも減少している。
悪くなっている	輸送業（配車担当）		受注量や販売量の動き	・運賃見直しの実施、新規荷主獲得に力を入れているが、荷動きが非常に悪くなっている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（従業員）	それ以外	・求職者が就職活動をゴールデンウィーク後の5月中旬を目標に活動しているように見受けられる。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・1年近く職に就いていない人の求職者数が増加している。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数ともに、対前年同月比で減少している。新規求人は、建設業と製造業、運輸・通信業で、2桁の減少となっている。
学校〔大学〕（就職担当）		採用者数の動き	・新卒者の採用は低調に推移している。一方で、アルバイトや即戦力になる人材を求める傾向があり、新卒者にとっては厳しい状況である。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	-	-	-

10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3月から前年売上をクリアする日が多くなってきた。近隣百貨店の改装効果も一巡した。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・毎月いろいろなイベントを行っている効果で、やや集客が増えた。ただ、それが直接売上に結びついている業種とそうでない業種ではばつきがある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・年金の受給日を中心に購買数も増えてきた。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・2月以降の2店舗の営業時間延長と4月に改装オープンする店舗の影響によって客数が増加傾向にある。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・新幹線の工事が近所であり、人の動きが多くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・店内の高額商品の動きが良い。地場産品である寿甘蒔の価格が昨年と同じ時期より良い。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・婚礼家具の売行きが良かった。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・選挙月だというのに思った以上の来客があった。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・売上は3か月前と比べて上がっている。競合店が大型店舗も含めて多く出店しており、良い状態にある。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・販売量・来客数とも予算をクリアできた。
	都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・市内の複合商業施設のオープンに伴ってスタッフの宿泊があった。	
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・相談ごとも含めて仕事量が増えている。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・購買が依然低価格商品に集中している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・近隣に複合商業施設ができ、客の回遊性を期待していたが一向に商店街に流れてこない。
		商店街（組合職員）	それ以外	・今月になって廃業する店舗が数店ある。またビルのテナントが入らず、空き店舗のままで中心商店街が閑散としている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・土日の来客数が少ない。客に交通費補助としてサービスしているチケットの使用済券の回収量が、前月比10%減少した。
		百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・近隣に複合商業施設がオープンし、相乗効果を期待したが、来客数が1割増えたものの、売上は前年キープがやっとで、客単価もやや下がった。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・チラシを出す時は前年並みの来客があるが、競合店のチラシと見比べて必要なものだけを買っている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・近くにマンションが3戸建って客が増えたが、特売品や必要なものしか買わない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・月初は花見需要で客数は増加したが、客単価は大幅に下落した。催事に関しては普段の買物以上にシビアになっている。
コンビニ（販売促進担当）		販売量の動き	・量販店やスーパーにおける特売合戦が激しく、客も特売品しか買わない。そのためスーパーでは平日は5%程度数字を落としているようだ。そのあおりを受けて当社では前年比約10%のダウンである。	
衣料品専門店（店員）		単価の動き	・以前から高級ブランドと安価なものは動きが続いているが、中途半端に良いものが全く動かない。当社でもセール品や旧品などの安いものを入れると非常に動きが出る。他店でも安いものが集中する催事に客が集まっている。	
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・大々的なクリアランスセールを開催したが、客は初日に集中し、あとは平日並みであった。		
その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	販売量の動き	・取引先の倒産、自己破産、会社更生法の適用が増えている。売り先が減る分、当社の販売も落ちる。		
一般レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・最近湯布院町に店を出したが、人通りは多いものの、買物袋を持っている人は少ない。客の話では土産物はどこの町でも買えるから買わないという。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		その他飲食〔居酒屋〕（店長）	お客様の様子	・焼酎ブームで良いと思っていたが、急に暑くなりビアガーデンがあちこちにオープンし、客が食事をしてから来るので食べ物が出ない。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・気候が良くなって人の動きも若干出てきたが、歩く客が多いので、売上は変わらない。	
		タクシー会社（営業担当）	お客様の様子	・良いと言う客もいれば悪いと言う客もいる。どちらかと言えば悪いと言う客が多い。	
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・無料サービスというたい文句に慣れてしまった顧客に対して、「有料でも買う」という強い動機を与えられる新サービスが打ち出せていない。	
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・市内に複合商業施設ができ、予想を上回る人出があったが、その施設以外は人の流れがない。	
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・宿泊、ゴルフはほぼ横ばい。イベント時には、ホテルは満館になった。イベント関連の特別展も目標どりの来館があった。	
		パチンコ店（店員）	来客数の動き	・業界全体が今苦境に立たされており、競合店でも大変苦勞している。どの店舗も客が安定しない。	
		美容室（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク前半はにぎわうが、今年は例年になく伸びがない。	
		美容室（店長）	お客様の様子	・客は景気が悪いと言いながら「旅行に行った」とか「コンサートに行った」と言っており、自分の趣味には金をかけている。	
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・主たる購買層である40代の動きが悪い。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・需要はあるが、なかなか決断しきれない。契約まで長期化する傾向がある。	
		やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売価格が一層の安値になっていて、売上が伸びない。
			商店街（代表者）	来客数の動き	・新学期のフレッシュマンフェアが始まったが、来客数が少ない。
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）		来客数の動き	・当店の客層は高齢者が中心なので、市内にオープンした複合商業施設へ客が流れているとは思えないが、来客数が減少している。	
	百貨店（営業担当）		お客様の様子	・売上の牽引役となる婦人服に伸びが見られない。また、売上に占めるバーゲンの比率が上昇している。DM催事開催期間の来客数の増加が売上に反映しない。	
	百貨店（営業担当）		販売量の動き	・セールでも盛り上がりを欠き、各部門とも販売数量が昨年に比べ減少した。	
	百貨店（営業担当）		販売量の動き	・これまで低調だった客足に加え、販売額も低下傾向が見られる。	
	百貨店（売場担当）		販売量の動き	・売上高、購買客数ともに前年比90%強で、前月比でもマイナスになっている。ただ一品単価と客単価は下げ止まり感が出ている。	
	百貨店（業務担当）		お客様の様子	・集客面を含めて平日の落ち込みが目立つ。医療費の負担増や石油価格の上昇、間近に迫った発泡酒等の増税といったことが、消費マインドに影響している。	
	スーパー（店長）		販売量の動き	・単価の下落が続いているうえに、買上げ点数も減っている。	
	スーパー（店長）		販売量の動き	・価格を下げてでも販売数量はあまり変わらない。	
	スーパー（店長）		単価の動き	・下げ止まっていた平均単価がさらに下降している。	
	スーパー（店長）		販売量の動き	・衣料品関係、新生活関係（社会人、大学生）の動きが非常に悪いが、小学校の入学関連はいい。	
	スーパー（経理担当）		単価の動き	・既存店レベルでの来客数は前年を維持しているが、売上高が2%以上落ち込んでいる。買い控えや特売での購入比率が高まり、客単価がかなり下落している。	
	コンビニ（経営者）		お客様の様子	・以前は弁当を飲物やデザートと一緒に買いにきていた客が、近くの弁当屋でディスカウントのキャンペーンがあると、弁当をそちらで買い、当店で飲物だけを買うようになっている。	
	コンビニ（エリア担当）		お客様の様子	・新入学や異動の時期で新たな客が増加するのを見込んでキャンペーンを行ったが、客数、客単価も変わらなかった。むしろ客の財布のひもはさらに固くなっており、既存店ベースの伸びもマイナスである。	
	家電量販店（総務担当）		販売量の動き	・新入学、異動マーケットにおいて、1人当たり購入額が例年の10~20%ダウンした。	
	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・戦争、SARS、株価の下落などで消費マインドが落ち込んでいて、かなり客が減っている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・モデルチェンジの車種もなく、グリーン税制の3月までの駆け込み需要により販売量はダウンした。	
		その他専門店〔医薬品〕（従業員）	単価の動き	・客単価、購買点数どちらも下がったままで上向く傾向は全然ない。	
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	競争相手の様子	・給油所の物件は原価償却、人件費、ネットワークなどの数字に出ないプラス要因が多いために、店舗数の多い会社が給油所閉鎖を実施することはあまりないはずだが、ここ数か月間閉鎖が増加している。12月単月で収支の出ない店舗は3月で閉鎖したようで、閉鎖店舗の従業員も再雇用されていない様子である。	
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・イラク戦争、北朝鮮情勢、SARSの影響などの不安要因があって、客の様子も落ち着かない。	
		都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・SARSのほか、国内政治も不安定で悪影響が出ている。	
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク戦争による海外旅行の減少はある程度覚悟はしていたものの、SARSによる海外旅行中止客が非常に多く、海外旅行部門の見通しが立たない。	
		旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークが他の3連休と同じで長期の休みが取りにくいのと、SARSの影響で人気のあった中国や東南アジアへの旅行が激減した。また、統一地方選挙の影響で出足が鈍かった。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・県外からの客が少なく昼間の街に活気がない。夜は金曜日だけは人が多いが他の日は少ない。	
		ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・客が少ないので、キャディの出動調整を4月から導入して経費の削減に努め、なんとか乗り切ろうとしているところである。	
		競輪場（職員）	来客数の動き	・来客数が前年比10～15%落ち込んでいる。	
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場への来場が3月までと比べてかなり減っている。計画も少しずつ減っている。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の契約数が、ここ1年で極端に減少している。展示場への来客は休日でも少なく、イベントを催しても反応は鈍い。税制面や住宅ローンの優遇措置が取られているが、効果が出ているかは疑問である。	
		悪く なっている	百貨店（売場主任）	単価の動き	・客数は減っていないが、単価が落ちている。物産展等に客は集まるが、1人当たりの売上が伸びない。
			乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・最大需要期を過ぎたこともあるが、イラク戦争後の問題やSARSの不安と重なって、客の動きが鈍くなっている。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き		・ゴールデンウィークに入ったというのに昨年とは比較にならないほど予約がない。		
スナック（経営者）	来客数の動き		・4月は9割の客が閉店の知らせを聞いて来店し、売上は前年同月比1割減で済んだ。閉店を知らせなければ売上はほとんどなかったことになる。		
通信会社（営業担当）	お客様の様子		・取引先の売上の低下によって、こちらからの契約が先送りになるケースが増えている。		
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-	
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の金型は、スポット的ではあるが非常に活発になってきた。大手取引先も、ある程度の受注量を確保しているようである。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の動きが活発になって仕事量が増えている。好調な新規事業だけでなく、半導体製造も活発である。	
		建設業（総務担当）	それ以外	・官庁工事は年度替わりで発注が非常に少ないが民間工事は活発である。すでに受注した工事の設計を担当した設計事務所の推薦で入札の機会も増えてきた。	
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・決算内容を見ると、大幅に改善とはいかないまでも最悪期は脱したと判断できる。	
変わらない		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上が前年比2ケタの伸びである。	
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・気候が暖かくなるにつれ、関東地区の露地物に押されて九州の農産物価格は逡減してきているが、昨年と比較すると逡減幅が少なく、価格帯もやや高い。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・需要期となる3、4月は動きが良いが、今年は昨年と比べてだいぶ落ち込んでいる。特に専門店、量販店の動きが悪い。	
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・民間工事の減少が依然として続いている。案件が出ても業者が多く参入し、たたき合いで低価格で落札するという悪循環が続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・複合商業施設のオ・ブンに伴い受注量が増加した。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・最近の受注の内容は、リストラ、合理化絡みといった事業縮小関係が多い。
	やや悪くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・加工原料肉は偽装表示問題で国産指向が高まっており国内生産が増えている。加えて中国からの輸入も解禁になり、荷余り感から価格が下がっている。
		繊維工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・例年であればゴールデンウィーク前に販売する製品の追加、クイック生産などの注文が頻繁に来るが、今年はそういったものがほとんどなかった。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3～4月は需要期だが、今年はそれもなく、東京の大型物件もほぼ終わり、新たな情報もあまりない。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・SARSや株価の低迷が懸念される。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の事業部がリストラで廃止になった。その落ち込みをカバーするのが大変である。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注は量産品が減り、多品種少量の方向に移行しており、今までの70%程度に減少している。
	悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・遅防法に抵触するにもかかわらず、顧客から強引な値引き要請がくる。顧客は過去最高利益を出しても、その下請は過去最悪の収益状態となっており、このままでは中小企業は全滅してしまう。
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	取引先の様子	・先行きが不透明なことから設備投資を先送りする経営者のマインドが散見される。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・先月同様、求人企業数が伸びている。建設、流通などキャリア志向の案件が増えているが、採用は以前にも増して厳選されており、成約には至らない。
		変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き
	人材派遣会社（社員）		求職者数の動き	・最近の登録者の動きを見ていると、他社登録が多く、他社でも派遣の終了者の登録が多く、派遣業界全体の仕事量が減っている。
	学校〔専門学校〕（就職担当）		求職者数の動き	・30代後半から50代の男性の求職が多いが、仕事がない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・コストに対する意識がどの企業も必要以上に強くなっており、値段が第一というところが多い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・大手チェーン店直営で出店して10年を越す駅構内にある飲食店が4月で廃店になった。新規出店もあるが、中心部でのこうした廃店は気にかかる。
		民間職業紹介機関（支店長）	雇用形態の様子	・企業の事務処理部門の縮小・統廃合、営業・生産部門以外のリストラ傾向が一段と強まっていて、契約期間の短期化、大口需要における価格下げ圧力は依然強い。中高年層の再就職は、求職者が増加する一方で、求人数は減少し続けている。また、コールセンター開設等による人材の需要は発生するが、従来の価格では到底成約できないケースが目立つ。派遣・紹介よりもパート・アルバイトといった低賃金の労働者を自社で直接雇用するケースが多く見られる。
悪くなっている				

### 11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来客数が回復基調にある。住宅業界では、このような状況は徐々にあり、総合展示場への来客数は昨年11月の85組から、今年度4月には155組と回復している。
	変わらない	スーパー（企画担当）	競争相手の様子	・競合各社の新店オープンが相次ぎ、引き続き客の分散化が進んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・衝動買いをする客の少ない状況が続いている。 ・近くの小学校で入学式があったが、通常ならば売れるカメラやフィルムの売行きが悪かった。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客の様子から、以前と比べ安い物より長い目でみて良いものを買おうとする傾向がみられる。
		家電量販店（副店長）	お客様の様子	・週末の来客数はほとんど3か月前と変わらない状態なのだが、平日の来客数は減少している。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・計画に対する実績に、大きな変化がみられない。
		観光型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・弊社のような事業では季節により売上が大きく変化するため、3か月前の冬の時期とは単純に比較はできないが、3か月前と比較して売上は変わっていない。 ・前年同月との比較では、来客数、売上ともに増加している。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・安ければ集客できる。
	やや悪くなっている	百貨店（担当者）	販売量の動き	・春休み後、急速に衣料品を中心に販売量が減少している。3月初旬にも同様の傾向がみられ、販売数量は昨年比97%まで回復していたが、4月は来客数、販売数ともに厳しい状況である。安定しない天候による影響が大きいと判断されるが、気温やニーズに即した仕掛けを店頭で実施しても反応が少ない。瞬間支出の傾向が消費者の中に強まっている。
		スーパー（財務担当）	競争相手の様子	・競争店の新店舗オープンや24時間営業店舗の増加がみられる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・イラク戦争による修学旅行のキャンセルや修学旅行者の外出禁止がマイナス要因となっている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・コンビニ弁当は以前は、390円シリーズが最低価格ラインだったのだが、350円以下に移行しつつある。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	お客様の様子	・客が目的以外の商品をなかなか手に取らなくなっている。 ・買物に来て、衝動買いをすることがなくなっている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・例年、連休前は買い控えにより来客数が減少するのだが、今年は特に例年比で20%の大幅な減少となっている。 ・新規オープンの店は売上目標の100%以上を達成しているが、既存店は売上の下落が激しい。
悪くなっている	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・SARSによる影響から、販売量が激減している。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・現在デフレが進行中で、個々の店の話では、単価は下落し、販売数も減少するなど、中には2、3日売上がないという店も出ており、大変厳しい状況下にある。	
企業動向関連	良くなっている	高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・来客数は極端に減少しており、新聞等の観光関係の発表内容によれば入域観光客数は増加しているが、データに現状が反映されていない部分もあるのではないかと。同業者からも客の入りが悪いとの話が聞かれることから、数字の信憑性が同業者の中で話題となっている。 ・客の動きも鈍く、単価も低下している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月、4月と我が社に対する問い合わせ件数、及び成約件数が増加している。
	やや良くなっている	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・入学、転勤シーズンで、引越し、事務用品等の物量は前年より減少しているものの、2、3か月前よりは増加している。
		通信業（従業員）	それ以外	・案件のほとんどが中長期的な事業であるため、実際に収入となるまでには期間を要することから、毎月のキャッシュフローを心配するベンチャー企業には辛い案件となっているが、案件数は増加している。
	変わらない	-	-	-
	やや悪くなっている	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・既存サービスの解約が発生しており、新規需要の伸び率も鈍化傾向にある。
不動産業（支店長）		受注量や販売量の動き	・問い合わせ件数が、大幅に減少している。	
悪くなっている	-	-	-	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所（職 員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数は2,432人で前年同月比20.6%の増加となっている。</li> <li>・有効求人倍率は、前年同月比で3か月連続して増加で推移している。</li> <li>・求職件数も前年同月比で24.3%と4か月連続の増加となっている。</li> </ul>
	変わらない	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣依頼は増加しているものの、契約更新をストップする企業もあり、結果としてプラスマイナスゼロという状況である。また派遣依頼があったとしても、それは予定派遣として、いずれ正社員にするという形での派遣の形態が増加している。この状態がしばらく続く。</li> </ul>
	やや悪く なっている	-	-	-
	悪く なっている	-	-	-